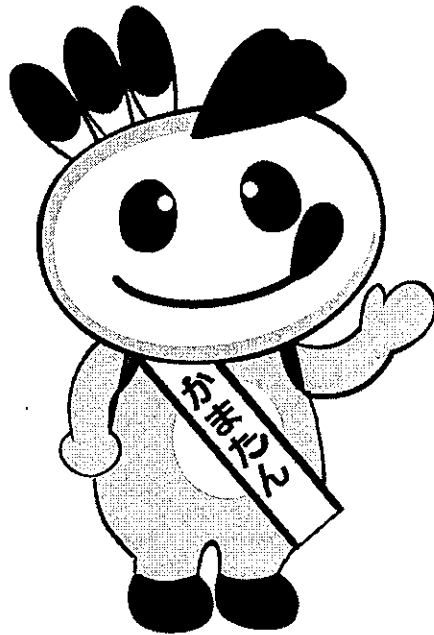


平成 29 年度

鎌ヶ谷市の教育



鎌ヶ谷市マスコットキャラクター

「かまたん」

鎌ヶ谷市教育委員会

はじめに

地方教育行政制度の改革により、市長との連携を図ることを目的として設置された「鎌ヶ谷市総合教育会議」が3年目を迎え、教育委員会と市長部局が一体となって教育行政を支える体制がいよいよ強固なものとなってきました。特に、いじめゼロをめざす本市では、国の「いじめの防止等のための基本的な方針」が今年3月に改正されたことを受け、「鎌ヶ谷市いじめ防止基本方針」を策定し、その運用を開始するとともに、「鎌ヶ谷市教育大綱」において掲げている「他人を思いやる豊かな心を育て、いじめの起きない学校づくり」を推進しているところです。この大綱に基づき、教育、学術及び文化の振興の各分野において、さまざまな事業展開を行っています。

本市の主な施策として、学校教育においては、「確かな学力」と「豊かな心」をはぐくむため、少人数指導教員(きらり先生)を全校に配置し、TTや少人数指導など、きめ細かな指導を行っています。少人数指導の場では、児童・生徒が支援を必要としているときに、気軽に声をかけることができるので、相談できる先生として好評です。また、通常学級に在籍するLD、ADHD、高機能自閉症などの児童・生徒に対しては、一人ひとりの教育的ニーズに応じたきめ細かな指導を行うことで、よりよい成長を促すことを目的とし、特別支援教育推進指導教員(ほほえみ先生)を全校に配置するとともに、心理発達相談員による巡回相談を実施しています。

学校施設面では、五本松小学校において児童数が増加していることに伴い、普通教室4教室と、特別教室では音楽室と図書室を増設します。さらに中部小学校のすべてのトイレを洋式化し、東部小学校と西部小学校につきましても部分的な洋式化に取り組んでまいります。今後は全小中学校のトイレの洋式化を計画的に実施する予定です。

生涯学習の面では、市民会館が行う、「かまがや市民創作ミュージカル」において、プロと市民との協働により、市民が気軽に芸術文化に親しめる機会や舞台に立つ機会を提供するとともに、自主的な文化活動が行えるような人材を育成します。

文化面では、今年度から2か年事業で一本松遺跡の整理作業を行い、出土資料の分析、図化、現地で作成した図面や写真の整理などを行い、それらを発掘調査報告書として公刊します。また、「鎌ヶ谷市史」下巻の公刊をもって全巻が整い、鎌ヶ谷市史編さん事業は終了しました。

スポーツ面では、市営陸上競技場のフィールド、トラック、メインスタンドの改修を進め、スポーツ環境の整備を行ってまいります。

鎌ヶ谷市の教育施策や事務事業についてご理解をいただくため、「平成29年度鎌ヶ谷市の教育」を取りまとめましたので、ご活用いただくとともに、教育行政への一層のご支援とご協力を賜りますようお願いいたします。

平成29年8月

鎌ヶ谷市教育委員会
教育長 皆川 征夫

目 次

I 鎌ヶ谷市の概要	
[1] 鎌ヶ谷市のあゆみ	3
[2] 位置及び地勢	3
II 教育行財政	
[1] 教育委員会の沿革	4
[2] 教育委員会の概要	11
[3] 事務局及び教育機関	13
[4] 教育施策	15
[5] 教育予算	22
III 教育施設	
[1] 教育施設の概要	26
[2] 生涯学習施設の状況	27
[3] 学校教育施設などの状況	28
[4] スポーツ施設の状況	30
[5] 文化施設の状況	30
[6] 教育施設配置状況	32
IV 学校教育	
[1] 学校教育	33
[2] 学校紹介	46
[3] 学校保健・安全	60
[4] 学校給食	62
V 生涯学習	
[1] 社会教育	64
[2] 青少年の健全育成	65
[3] 芸術・文化	66
[4] スポーツ・レクリエーション	67
[5] 生涯学習推進センター	71
[6] 学習センター	73
[7] 図書館	75
[8] 郷土資料館	78
[9] 青少年センター	79
[10] 市民会館・きらりホール	83

Ⅰ 鎌ヶ谷市の概要

〔1〕 鎌ヶ谷市のあゆみ

鎌ヶ谷市の歴史は、大都市近郊の農村として、大部分はその影響を受けて変遷してきたと言えます。江戸時代には、今の初富は幕府直轄の小金五牧のなかの中野牧として、野馬の放牧場でした。また、このころの鎌ヶ谷は、木下街道沿いの宿場として栄えていました。

明治に入り、牧が廃止され、最初に開墾が行われたのが初富で、以降、開墾入植順に二和・三咲・豊四季・五香・六実というように地名がつけられました。明

治 22 年に、近隣 7 ヶ村の鎌ヶ谷・道野辺・中沢・初富・粟野・佐津間・軽井沢新田が集まって鎌ヶ谷村となり、現在の市域のもととなりました。

昭和 33 年に町制が施行され、都心のベッドタウンとして急速な発展を見せ、昭和 46 年 9 月千葉県第 24 番目の市として市制が施行されました。

さらに、平成 3 年 3 月には北総開発鉄道二期線が開業し、都心への直接乗り入れが可能になるとともに、平成 11 年 11 月には、東武鉄道野田線、新京成電鉄、北総鉄道の 3 鉄道を結ぶ新鎌ヶ谷駅が完成し、市民の足が一層便利になりました。また、新鎌ヶ谷特定土地区画整理事業による大型商業施設の誘致など、人・物・情報が集まる拠点として、さらに平成 22 年 7 月には成田空港に直接乗り入れる成田スカイアクセスが開通し、鉄道 4 線が交わる交通結節点として、賑わいを見せています。



〔2〕 位置及び地勢

本市は、千葉県の北西部、東経 139° 58′ ~140° 01′、北緯 35° 43′ ~47′ にあり、総面積 21.08 km²、周囲約 30.75 km です。東は白井市、南は船橋市、西は市川市、松戸市に、北は柏市に接し、東京都心より 25 km の位置にあります。

地勢は、数条の谷地が入りこんでいますが、大部分は平坦な台地であり、畑作を中心とした近郊農業が行われています。特に、果樹や野菜の栽培が盛んであり、梨は全国屈指の生産地となっています。しかし、市域は宅地化が進んできており、首都近郊の住宅都市としても発展してきています。

II 教育行財政

[1] 教育委員会の沿革

昭和 27. 11 教育委員会法（昭和 23 年法律第 170 号）により鎌ヶ谷村教育委員会設置

初代 委員長 関根 喜一

” 教育長 吉田 俊夫

” 委 員 徳田 良雄・秦野 甚市・山元 清子・水上 謙三

（以下歴代教育委員及び教育長は別掲）

- ” 33. 8 町制施行
- ” 37. 4 東部小学校開校
- ” 39. 4 北部小学校開校
- ” 40. 4 南部小学校開校
- ” 42. 4 西部小学校開校
- ” 44. 6 学校給食センター開設
- ” 45. 4 中部小学校開校
- ” 46. 4 県立鎌ヶ谷高等学校開校
- ” 46. 9 市制施行
- ” 47. 4 第二中学校開校
- ” 47. 9 教職員住宅 2 棟（32 戸）が完成
- ” 49. 4 初富小学校開校
- ” 50. 4 第三中学校開校
- ” 50. 4 東部公民館開館
- ” 51. 11 市役所新庁舎完成し執務開始
- ” 52. 4 中央公民館開館
- ” 52. 4 道野辺小学校開校
- ” 52. 5 市立図書館開館
- ” 52. 6 サイクリングロード新設
- ” 53. 3 市民憲章制定
- ” 53. 4 五本松小学校開校
- ” 53. 4 学校給食センター第二学校給食共同調理場完成
- ” 53. 4 三橋記念館開館
- ” 54. 4 子ども模擬議会開始
- ” 54. 4 第四中学校開校
- ” 54. 4 トレーニングセンター開設
- ” 55. 4 県立鎌ヶ谷西高等学校開校

”	57.4	市民体育館開館
”	57.10	北部公民館開館
”	59.4	第五中学校開校
”	60.7	市民プール開設
”	62.4	新図書館開館
”	62.4	郷土資料館開館
”	63.10	市営陸上競技場開設
”	63.11	東野少年野球場開設
平成	元.4	南部公民館開館
”	元.4	コンピュータ室設置（中学校一部）
”	元.4	A L T配置
”	2.4	適応児童教室（ふれあい談話室）設置
”	2.6	東鎌ヶ谷みんなのスポーツ広場開設
”	3.10	生涯スポーツ都市宣言
”	3.11	中沢みんなのスポーツ広場開設
”	3.11	東初富テニスコート開設
”	4.4	鎌ヶ谷市生涯学習基本計画策定
”	5.3	第四中学校に柔剣道場完成
”	6.3	鎌ヶ谷市生涯学習第1次推進計画策定
”	6.4	市いじめ総点検開始
”	6.4	生涯学習推進センター開所
”	6.9	鎌ヶ谷中学校に柔剣道場完成
”	7.4	東初富公民館開館
”	9.3	第五中学校に柔剣道場完成
”	10.4	ワカタネ派遣開始
”	11.3	第三中学校に柔剣道場完成
”	11.4	学校図書館司書配置
”	13.4	計算力定着度調査開始
”	13.4	日本語指導講師派遣開始
”	13.10	軽井沢多目的グラウンド開設
”	14.4	東部学習センター開所
”	14.4	キッズI S O開始
”	14.4	国語・漢字の読みと書き取り力定着度調査開始
”	14.11	第二中学校に柔剣道場完成
”	15.1	改訂鎌ヶ谷市生涯学習基本計画策定
”	15.4	佐津間多目的グラウンド開設

- ” 15.4 少人数教育指導教員配置
- ” 15.4 CAP研修開始
- ” 16.10 東部公民館閉館
- ” 17.3 東鎌ヶ谷みんなのスポーツ広場閉場
- ” 17.4 教職員住宅廃止
- ” 17.4 特別支援教育推進指導教員配置
- ” 18.4 視聴覚センター廃止
- ” 18.4 子ども模擬議会を子ども議会に名称変更
- ” 18.8 四木柵多目的グラウンド開設
- ” 19.2 下総小金中野牧跡（捕込・野馬土手の一部）が国史跡に指定
- ” 21.4 プロジェクトマネージャー配置
- ” 21.8 中学校図書館データベース化事業開始
- ” 22.7 小学校図書館データベース化事業開始
- ” 24.3 学校図書館データベース化事業完了
- ” 25.3 市民プール閉場
- ” 26.3 三橋記念館閉館
- ” 26.3 トレーニングセンター閉館
- ” 26.3 学校給食センター（第一・第二）廃止
- ” 26.4 きらり鎌ヶ谷市民会館開設
- ” 26.4 学校給食センター開設
- ” 26.6 弓道場・アーチェリー場開設
- ” 27.8 中学生平和教育生徒派遣事業
- ” 28.1 第3次鎌ヶ谷市生涯学習推進基本計画策定
- ” 28.3 下総小金中野牧跡（捕込の一部）が国史跡に追加指定
- ” 28.4 中央地区公共施設駐車場開設
- ” 28.6 鎌ヶ谷市教育大綱策定
- ” 28.6 鎌ヶ谷市第2期教育振興基本計画策定
- ” 28.7 中沢多目的グラウンド開設
- ” 29.8 中学生平和教育生徒派遣事業

歴代教育委員及び教育長

年度	教 育 委 員 会					
	委員長	委 員				教育長
昭和27年	関根 喜一	徳田 良雄	秦野 甚市	山元 清子	水上 謙三	吉田 俊夫
28	"	"	"	"	"	"
29	"	"	"	"	"	"
	小金谷 重夫	岩橋 義男			山崎 雄一	
30	"	"	"	"	"	"
	米井 義男					
31	"	"	"	"	"	"
	岩橋 寅吉	皆川 清	細野 由三	富沢 政江	石原 輝夫	
32	"	"	"	"	"	
			藤川 喜代			
33	"	市原 正常	"	"	"	
	皆川 清	"	相柄 達雄			
34	"	"	"	"	"	
	市原 正常	石川 研静				
35	"	"	"	"	"	
				小金谷 重夫		富沢 公彦
36	"	"	"	"	"	
			関 益造			
37	"	"	"	"	"	
	小金谷 重夫					鈴木 千代隆
38	"	"	"	"	"	
	関 益造					富沢 公彦
39	"	"	"	"	"	
			皆川 慈宝			
40	"	"	"	"	"	
	皆川 慈宝		中村 権蔵			徳田 雄之助
41	"	"	"	"	"	
				市原 正常		
42	"	"	"	"	"	
43	"	"	"	"	"	
44	"	"	"	"	"	
				村崎 勇		
45	"	"	"	"	"	

46	"	"	"	"	"
					大木 清一
47	"	"	"	"	"
	村崎 勇	市原 正常	伊藤 与兵衛	山口 清	
48	"	"	"	"	"
49	"	"	"	"	"
50	"	"	"	"	"
51	"	"	"	"	"
				小林 兼夫	
52	"	"	"	"	"
53	"	"	"	"	"
54	"	"	"	"	"
			内山 秀則		
55	"	"	"	"	"
56	"	"	"	"	"
57	"	"	"	"	"
	市原 正常				
58	"	吉田 清	"	"	"
	内山 秀則		市原 正常	椎名 房男	
59	"	"	"	"	"
	吉田 清	内山 秀則			
60	"	"	"	"	"
	椎名 房男		長濱 博	吉田 清	
61	"	"	"	"	"
	内山 秀則	椎名 房男			
62	"	"	"	"	"
	長濱 博		内山 秀則		
63	"	"	"	"	"
	吉田 清			長濱 博	
平成元年	"	"	"	"	"
	椎名 房男	吉田 清			
2	"	"	"	"	"
	内山 秀則		椎名 房男		
3	"	"	"	"	"
	長濱 博			内山 秀則	

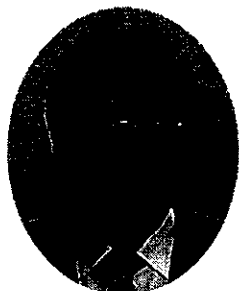
4	"	"	"	"	"	
	吉田 清	長濱 博				
5	"	"	"	"	"	
	内山 秀則	吉田 清				
6	"	"	"	小林 敦子	"	
	椎名 房男					内山 秀則
7	"	"	"	"	"	
	井上 和夫					小林 敦子
8	"	"	"	"	"	
				倉橋 護		
9	"	"	"	"	"	
	内山 秀則					寺島 正方
10	"	臼杵 二三子	"	"	"	
11	"	"	"	"	"	
12	"	"	"	"	"	
	寺島 正方					—
13	"	"	萩原 正二	"	"	
14~17	"	"	"	"	"	
18	"	"	"	"	川西 八郎	
19	"	—	"	"	"	
	萩原 正二	長濱 美奈				皆川 征夫
20	"	"	"	"	"	
21	"	"	"	"	"	
	皆川 征夫					—
22	"	"	皆川 準一	"	"	
23	"	"	"	"	"	
24	"	"	"	"	"	
				—		
				庄司 剛彦		
25	"	"	"	"	"	
26	"	"	"	"	"	
27	皆川 征夫	皆川 準一	庄司 剛彦	奥村さかえ	—	川西 八郎
	—				住石 英治	皆川 征夫

年 度	教 育 委 員 会					
	委員長	教 育 委 員				教育長
28	—	皆川 準一	庄司 剛彦 石川 宏貴	奥村さかえ	住石 英治	皆川 征夫

※教育の政治的中立性、継続性、安定性を確保しつつ、地方教育行政における責任の明確化、迅速な危機管理体制の構築、首長との連携の強化を図るとともに、地方に対する国の関与の見直しを図るため、地方教育行政制度の改革を行うことを目的とし、地方教育行政の組織及び運営に関する法律が一部改正され、平成27年4月1日施行されました。これにより、これまで置かれていた委員長と教育長とが一本化され、新たな責任者として、教育長が置かれることとなりました。

[2] 教育委員会の概要

1 教育委員会



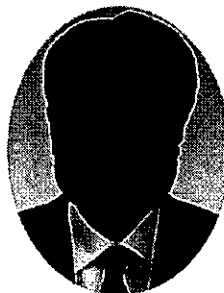
教育長
皆川 征夫



教育長職務代理者
皆川 準一



委員
奥村 さかえ



委員
住石 英治



委員
石川 宏貴

(平成29年4月1日現在)

役職名	氏 名	任 期
教育長	皆川 征夫	H27. 7. 18~30. 7. 17
教育長 職務代理者	皆川 準一	H29. 4. 1~33. 3. 31
委 員	奥村 さかえ	H27. 4. 1~30. 3. 31
委 員	住石 英治	H27. 10. 1~31. 9. 30
委 員	石川 宏貴	H28. 10. 1~32. 9. 30

2 教育委員会会議

1 平成28年度中に開催された会議の回数

区 分	定例会	臨時会	合 計
回 数	12回	5回	17回

2 平成28年度中に議決された案件

	件 名	議決件数
1	教育委員会規則等の制定改廃	12
2	議会の決定を要する事件の意見の申出	5
3	附属機関の委員の任命・委嘱	9
4	教科書その他の教材の取扱いの方針	1
5	教育に関する事務の管理及び執行状況の点検及び評価	1
6	職員の人事の方針	1
7	職員の分限及び懲戒の処分	5
8	その他	1
	合 計	35

3. 平成28年度中に報告した事項

区 分	報告事項
件 数	64

4. 平成28年度中の教育懇談会

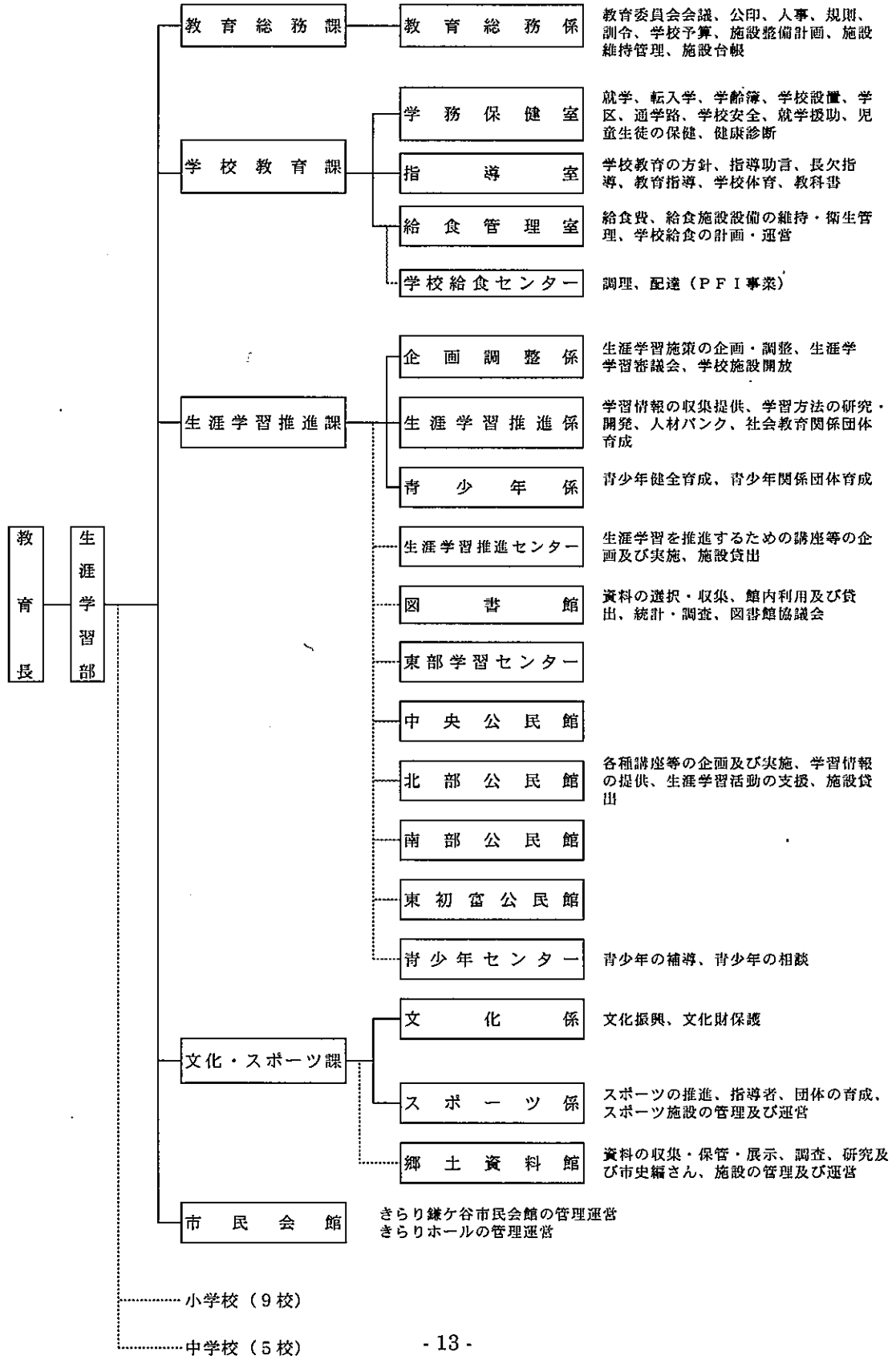
区 分	教育懇談会
件 数	5

5. 平成28年度中に会議に附した請願および陳情

区 分	請 願	陳 情
件 数	0	0

[3] 事務局及び教育機関

1 組織機構及び事務概



2 事務局

職名 課名等	部	参	次	副	課	室	主	補	副	室	指	管	社	学	係	主	主	主	主	保	主	技	技	主	用	再	計
	長	事	長	事	長	長	幹	佐	幹	佐	長	導	理	会	教	主	主	任	任	任	師	主	主	任	務	任	
部	1																										1
参		2																									2
次			(1)																								(1)
副				2																							2
教育総務課					1		1		1								1	1	1								6
学校教育課					(1)	3	1		6	(6)	(2)					2	1	2	2	1		2	1				(9) 21
生涯学習推進課					1		1		1				(3)	(2) 1	3		1	2								4	(5) 14
文化・スポーツ課					(1)		1		1				(3)	(2)					5								(6) 7
市民会館					(1)										1			1								4	(1) 6
計	1	2	(1)	2	(3) 2	3	4		9	(6)	(2)	(3)	(3)	(3)	(4) 1	6	2	4	11	1		2	1			8	(22) 59

(注) () は兼務、事務取扱

3 教育機関 (学校を除く)

職名 課名等	館	主	補	副	指	係	主	主	主	主	社	司	学	技	技	再	計
	長・ 所 長	幹	佐・ 代 理	幹	導 主 事	長	査	査	任 主 事	任 主 事	会 教 育 主 事	書	員	主 査	主 査	任 用	
生涯学習推進センター	(1)			(1)		(1)	(1)			(2)	(2)					(2)	(10)
東部学習センター	(1)		1													3	(1) 4
中央公民館	1										(1)					3	(1) 4
北部公民館	1															2	3
南部公民館	1															3	4
東初富公民館	1															3	4
青少年センター	(1)						(2)	(1)		(1)						(2) 4	(7) 4
図書館	1							1								2	4
郷土資料館	1								1				(2)			3	(2) 5
学校給食センター	(1)						(2)	(1)									(4)
計	(4) 6		1	(1)		(1)	(5)	1	(2)	(2) 1	(4)	0	(2)	0	0	(4) 23	(25) 32

(注) () は兼務、事務取扱

[4] 教育施策

〔基本方針〕

さわやかに ふれあい 学びあい 高めあうまちをめざして

〔目 標〕

Ⅰ 生きがいのある暮らしができる生涯学習社会をつくります

1 いきいきとした生涯学習の推進

(1) 生涯学習の環境づくり

- 生涯学習関連施設の補修、改修に努め、施設が持つ機能の最大限の有効活用を図るとともに、施設の効率的な活用に努めます。
- 市民の学習ニーズや実態について調査を行い、生涯学習審議会において市民の生涯学習に資するための施策について審議し、生涯学習施策への反映に努めます。
- 市民活動が円滑に行われるよう、様々な分野において高い見識・専門性・技術等を有する学習指導者の養成・青少年健全育成活動を促進する指導者の養成や発掘に努めます。
- 小中学校の体育施設やコミュニティルームなどを生涯学習の場として活用の充実を図るとともに、広範かつ公平な利用が図られるよう努めます。
- 多様化する市民の学習ニーズに応えるため、図書館蔵書・視聴覚資料の充実に努めます。
- 市民の学習ニーズや学習相談に応えられるよう、生涯学習の専門講師による研修等の充実を図り、職員の資質向上に努めます。
- 多様化・高度化しながら増大することが予測される市民の学習ニーズに応えるため、関係施設間の役割分担や人的交流といった連携・協力を強化し施設間ネットワークの充実に努めます。

(2) 生涯学習活動の推進

- 各成長期における課題の克服に必要な学習機会の充実に努めます。
- 学習者の求める情報を的確に提供できるよう、生涯学習情報の充実に努めます。
- 生涯学習に関するイベントの開催や各種顕彰事業などの普及事業の充実に努め、学習活動の活性化を図ります。

(3) 学習成果を生かす場づくり

- 各種講座、イベントなど市民による企画委員会を組織して、講座を開催します。
- 市民による企画委員会を組織した各種講座、イベントを開催するなど、幅広い人

材育成と、人と人との結びつきの強化に努め、協働事業の促進を図ります。

- 各種サークルの学習成果の発表や展示など、各施設でサークルや自治会の代表者などで実行委員会を組織して実施します。

2 生涯スポーツ・レクリエーションの振興

(1) スポーツ活動の充実

- 誰もが気軽に参加できる地域スポーツ活動の促進に努めます。
- 生涯スポーツによる体づくりや健康づくりへの意識を育むとともに、生涯の各段階に応じたスポーツ・レクリエーション活動の機会を提供するため、関係団体等の協力を得ながら、市民参加型のイベントや行事の開催を図ります。
- 北海道日本ハムファイターズを本市の貴重な地域資源として、ランフェスタなどを同球団と協働して実施します。また、同球団を鎌ヶ谷市が誘致してから、平成29年3月で20周年を迎えたことから、ファイターズ鎌ヶ谷スタジアム20周年記念事業を実施します。

(2) スポーツ関係団体・指導者の育成

- 各種スポーツの市民大会などを通じて競技スポーツ活動の促進を図り、スポーツ関係団体の育成と自主的活動を促進します。
- 各種スポーツ指導者の育成等に努め、自主的な研修等を促進します。

(3) スポーツ施設の整備・充実

- 市民のスポーツ活動に資するため、陸上競技場の改修事業を実施します。
- スポーツ施設を管理運営する指定管理者の監督指導を行い、市民サービスの向上を図ります。
- 既存のスポーツ施設の維持補修、改修に努めます。

3 芸術・文化の振興

(1) 多様な市民文化活動の推進

- 芸術・文化の鑑賞機会の提供や、市民の創作発表の機会や場の提供など、芸術・文化事業を推進します。
- 地域の自主的な活動主体となる文化団体の育成、指導者の養成・確保に努めます。
- 文化を通じた世代間、団体間及び地域間の交流を促進するため、芸術鑑賞事業など市民が参加できる文化交流イベントを開催するとともに、それらの企画・運営への市民参加の促進を図ります。
- 子どもたちが次代の文化の担い手となるよう、優れた芸術文化や郷土の文化にふれ、学ぶ機会や場の充実を図ります。

(2) 歴史・文化遺産の保存・継承・活用の推進

- 文化財を市民共通の財産として積極的に収集・保存し、新たな地域文化形成の基礎としていくため、市民の理解・保護意識の向上に努め、発掘調査や整理研究体制など、文化財保護体制の充実を図ります。
- 国史跡下総小金中野牧跡の周知・普及事業の実施及び整備事業の実施に努めます。
- 民俗芸能などの地域ぐるみによる保存・継承を促進します。
- 郷土資料館を拠点に、本市の歴史や文化財を総合的に探求する場や機会を提供し、市民の地域文化に関する学習活動や文化遺産を活かしたまちづくり活動を支援します。
- 歴史的・自然的遺産の保存・記録、修復を行うとともに、本市の歴史を伝える資料の収集・調査・研究を推進します。

Ⅱ 人間性豊かな子どもの育成環境をつくります

1 生きる力を育てる義務教育の充実

(1) 地域とともに育つ特色ある学校づくり

- 児童生徒の基礎学力の向上と個性や能力に応じた教育を進めるため、学習指導の充実に努めます。また、各校独自の創意工夫や多様化に努め、地域とともに育つ特色ある学校づくりをめざします。
- 教育課程の編成や総合的な学習の充実など、各校の独自性を発揮していくとともに、ティームティーチングや学校間の交流など、多様な教育方法を取り入れます。
- 新たな学習課題を的確に見極め、体験を重視した学習の充実に努め、社会性や思いやりの心を育てます。自らが自然の生態系の一員であることを認識した行動意識を養う環境教育、ボランティア体験などを通じて助け合う心や実践力を培う福祉教育、道徳教育、人権教育による心の教育の充実に努めます。
- ALT（外国語指導助手）による外国語教育や国際理解教育の充実により幅広い視野と国際人としての素養を養うとともに、情報教育の拡充により情報化社会への適応力や発想力を育てます。
- ICTを教育に効果的に活かすため、機器の整備と活用するシステムの整備・導入などハード・ソフト両面の充実に努めます。
※ICT:情報通信技術。コンピュータ・インターネット・携帯電話などを使う情報処理や通信に関する技術を総合的に指す語。
- 図書や視聴覚教材の充実に努めるとともに、市立図書館と連携し、学校図書館を有効に活用し、児童生徒の主体的な学習が図られるよう努めます。
- 障がいのある児童生徒が、教育的ニーズに応じて学び、能力を最大限に伸ばせるよう、教育の機会の拡充、就学・教育相談体制の充実に努めます。
- 学校と家庭、地域社会が一体となって教育に取り組めるよう、児童生徒の社会体験活動や相互の情報交換の充実に努めるなど連携を強化します。また、地域に住む社会人などの人材を学校教育に活用することや学校教育活動への支援者の人材バンクを活用し、学校と地域との人的交流の拡充に努めます。
- 学校運営に地域の意見やニーズを反映させるため、学校に関する情報を積極的に公開し、地域の声を学校経営に反映できるシステムをつくり、地域との協働による特色ある学校づくりを進めます。
- 学校は、地域文化やコミュニティ、防災などの地域の拠点としての役割と誰もが学びあえる地域活動の場としての充実に努めます。

(2) 専門性と社会性を備えた教職員の育成

- 新たな学習課題に応じた効果的で計画的な研修体系の整備を図り、社会の変化や学校教育をめぐる様々な問題への対応力を高める研修の充実や多様化に努めます。

社会体験の積極的導入なども考慮し、広い視野と社会性を兼ね備えた教職員の育成に努めます。

- 教職員の意欲に基づいた主体的な研究・研修とその成果の活用を図り、資質・能力の向上に取り組みます。また、教職員の教育に対する成果や努力を正当に評価する人事評価制度を行い教職員の士気を高める。
- 新たな教育課題に対応するため、研究校の指定をするとともに研究校以外の学校の主体的な公開を支援し、研究成果を他校や地域に広め、研究の充実を図ります。

(3) 安全・安心な教育環境づくり

- 老朽化した学校施設の改修を計画的に進め、各校内の施設や設備において、多様な活用目的に応えられるよう改修や改善を進めます。
- 児童数の増加に伴う五本松小学校校舎増設事業を実施します。
- 児童生徒数の推移を把握し、学校規模の適正化に向けて、学区の再編成を検討し、弾力的運用を図ります。
- カウンセリング機能を伴った教育相談体制の整備充実を図り、学校と家庭、地域社会が連携し、いじめや不登校など児童生徒の諸問題の解消に取り組みます。
- 保育所と幼稚園、小学校、中学校との連携強化により、一貫性ある教育を推進します。
- 教育の機会均等のため就学援助の充実を図ります。

2 児童・生徒の健康と安全の確保

(1) 保健安全教育の充実

- 子どもたちの運動意欲を培い、生涯にわたり運動に親しむことができる基礎体力の向上を図るため、教育活動を通して心身ともにたくましい子どもを育成します。
- 健康の保持増進や安全に対する心構えを養い、精神的ケアを行うカウンセリング体制と児童生徒が自ら健康管理ができるよう指導を強化し、家庭における健康管理への適正なアドバイスなどを行う保健安全教育を充実します。

(2) 児童生徒の安全確保

- 学校施設の安全点検や通学路の安全確保などの充実努めます。
- 児童生徒の安全確保について地域社会全体で取り組めるよう、一層の働きかけを進めます。

(3) 学校給食の充実と施設の整備

- 児童生徒が食生活に対する正しい理解と望ましい習慣を身につけられるよう、学校、家庭、地域社会がともに連携し、学校給食を生きた教材として活用し、「食」に関する指導を充実します。
- 安全でより良い学校給食を提供するため、栄養と献立の工夫に努め、高度な衛生管理システムに基づく運営や施設設備の維持管理に努めます。

3 高等教育の充実

(1) 義務教育修了者の進路選択への支援

○義務教育終了時の生徒に対し、各人の能力や適正に応じた進路指導に努めます。

(2) 高度学習ニーズへの対応

○近隣市の大学との連携を推進し、開放講座などを活用し、本市の抱える都市問題の解決や地域社会・産業の発展に寄与する研究活動との連携や支援に努めます。

4 青少年の健全育成

(1) 青少年の育成指導体制の充実

○学校、家庭、地域社会、行政の持つ機能を相互に連携、融合させた青少年健全育成体制の充実を図ります。

○広報活動などを通じて、青少年育成に対する市民の協力意識の高揚を図ります。

(2) 青少年の社会参加・体験活動の機会づくり

○青少年が社会体験や人々との交流を通じ社会性や社会規範を身につけ、自立心や思いやりの心を培うことができるよう、自発的な活動体験、生活体験の確保を図るとともに、学習・文化・スポーツ活動、世代間交流や国内交流活動などの機会の提供に努めます。

○地域における自主的な交流や学習、情報交換など青少年関係団体の活動を促進し、指導者の養成に努めます。

○学校や各種公共施設の有効活用などにより、青少年活動の拠点機能の充実に努めます。

(3) 非行防止対策の推進

○青少年の健全な成長を阻害する環境の浄化活動を推進します。

○いじめや不登校などの問題の早期発見、解決につながる相談・指導体制の充実を図ります。

○鎌ヶ谷市いじめ防止基本方針の策定を行います。

○不登校対策として家庭訪問相談員を新設し学校と家庭の連携を調整します。

○関係機関や団体との連携を強化しつつ、補導活動を強化し、地域ぐるみで非行を防止します。

(4) 家庭・地域の教育力の向上

○青少年が基本的な生活習慣を身につける場である家庭の教育力を重視し、幼児期からの発達段階に応じた家庭教育に関する学習機会や情報の提供、相談体制の充実などに努め、家庭の教育力の向上を促します。

○地域社会が青少年を見守り、健全に育む場となるよう、青少年の育成に対する大人の役割と責任について市民意識を高めるとともに、青少年団体や PTA などの地域活動の活性化を図るなど地域の教育力の高揚を促します。

〔施策の実現〕

施策を実現するための平成 29 年度の主要事業は次のとおりです。

I 生きがいのある暮らしができる生涯学習社会をつくれます

- 1 いきいきとした生涯学習の推進
 - 図書館蔵書・資料整備事業
 - 図書館情報ネットワーク整備事業
 - 図書館改修事業
 - 東初富公民館外壁・屋上防水改修事業
- 2 生涯スポーツ・レクリエーションの振興
 - 陸上競技場改修事業
- 3 芸術・文化の振興
 - きらり鎌ヶ谷市民会館の維持管理
 - きらりホールの運営
 - 埋蔵文化財発掘調査（一本松遺跡出土資料整理作業含む）
 - 国史跡下総小金中野牧跡保存整備事業

II 人間性豊かな子どもの育成環境をつくれます

- 1 生きる力を育てる義務教育の充実
 - 特別支援教育推進事業
 - 義務教育施設維持補修事業
 - 義務教育施設校舎増設事業
- 2 児童・生徒の健康と安全の確保
 - 通学路安全対策事業
 - 児童生徒安全パトロール事業
- 3 青少年の健全育成
 - 家庭教育支援事業
 - 北海道士幌町交流事業

[5] 教育予算

1 平成29年度予算

一般会計（歳出）

単位：千円

款	29年度予算	28年度予算	比較	構成比（%）
1. 議会費	322,040	325,725	△3,685	1.0
2. 総務費	2,832,628	3,858,532	△1,025,904	8.6
3. 民生費	15,433,806	14,764,992	668,814	46.5
4. 衛生費	2,717,234	2,705,664	11,570	8.2
5. 労働費	3,830	3,746	84	0.0
6. 農林水産業費	162,159	154,676	7,483	0.5
7. 商工費	224,295	224,511	△216	0.7
8. 土木費	3,196,254	3,930,921	△734,667	9.6
9. 消防費	1,502,176	1,536,492	△34,316	4.5
10. 教育費	3,715,984	3,324,784	391,200	11.2
11. 災害復旧費	3	3	0	0.0
12. 公債費	2,887,637	2,694,680	192,957	8.7
13. 諸支出金	111,954	115,274	△3,320	0.3
14. 予備費	60,000	60,000	0	0.2
歳出合計	33,170,000	33,700,000	△530,000	100.0

特別会計（歳出）

単位：千円

会計名	29年度予算	28年度予算	比較
国民健康保険	14,047,000	14,117,000	△70,000
公共下水道事業	2,182,000	2,333,000	△151,000
介護保険	6,489,000	6,323,000	166,000
後期高齢者医療	1,153,000	1,106,000	47,000

2 平成29年度教育費の内訳

単位：千円

予算科目	(A) 29年度 当初予算額	構成比	(B) 28年度 当初予算額	(C) 比較増減額 (A) - (B)	比較増減比 (%) (C) / (B)
教育費総額	3,715,984	100.0	3,324,784	391,200	11.8
1. 教育総務費	636,452	17.1	636,476	△24	0.0
(1) 教育委員会費	16,190	0.4	17,680	△1,490	△8.4
(2) 事務局費	271,375	7.3	263,242	8,133	3.1
(3) 教育指導費	288,223	7.8	297,298	△9,075	△3.1
(4) 特別支援学校費	60,664	1.6	58,256	2,408	4.1
2. 小学校費	635,890	17.1	477,896	157,994	33.1
(1) 学校管理費	603,544	16.2	446,566	156,978	35.2
(2) 教育振興費	32,346	0.9	31,330	1,016	3.2
3. 中学校費	277,405	7.5	181,701	95,704	52.7
(1) 学校管理費	245,638	6.6	149,612	96,026	64.2
(2) 教育振興費	31,767	0.9	32,089	△322	△1.0
4. 社会教育費	890,366	24.0	807,507	82,859	10.3
(1) 社会教育総務費	335,216	9.0	363,821	△28,605	△7.9
(2) 生涯学習推進費	38,033	1.0	33,687	4,346	12.9
(3) 学習センター費	311,417	8.4	265,476	45,941	17.3
(4) 図書館費	184,470	5.0	115,931	68,539	59.1
(5) 青少年センター費	7,178	0.2	7,046	132	1.9
(6) 郷土資料館費	14,052	0.4	21,546	△7,494	△34.8
5. 保健体育費	1,275,871	34.3	1,221,204	54,667	4.5
(1) 保健体育総務費	153,257	4.1	148,351	4,906	3.3
(2) 体育施設費	120,983	3.3	169,541	△48,558	△28.6
(3) 学校給食センター費	1,001,631	26.9	903,312	98,319	10.9

3 平成29年度主要事業予算

- ・ 特別支援教育推進事業 35,507千円
- ・ 義務教育施設維持補修事業 176,539千円
- ・ 義務教育施設校舎増設事業 307,685千円
- ・ 国史跡下総小金中野牧跡保存整備事業 2,500千円
- ・ 埋蔵文化財緊急調査事業（一本松遺跡出土資料整理作業含む） 6,400千円
- ・ 学習センター等改修事業 50,988千円
- ・ 図書館蔵書・資料整備事業 15,000千円
- ・ 図書館情報ネットワーク整備事業 8,307千円
- ・ 図書館改修事業 79,231千円
- ・ 通学路安全対策事業 15,000千円
- ・ 児童生徒安全パトロール事業 17,849千円
- ・ 陸上競技場改修事業 4,700千円
- ・ きらり鎌ヶ谷市民会館の管理運営に要する経費 114,853千円
- ・ きらりホールの管理運営に要する経費 48,220千円



埋蔵文化財緊急調査事業（一本松遺跡現地説明会で）

4 教育費項目別決算状況

単位：千円 構成比：%

18	決算額	672,414	329,582	178,491	627,149	1,071,316	2,878,952
	構成比	23.4	11.4	6.2	21.8	37.2	100.0
19	決算額	668,531	317,174	227,272	923,726	1,027,307	3,164,010
	構成比	21.1	10.0	7.2	29.2	32.5	100.0
20	決算額	573,908	218,079	145,412	597,030	985,880	2,520,309
	構成比	22.8	8.6	5.8	23.7	39.1	100.0
21	決算額	585,983	289,621	195,429	579,997	1,059,087	2,710,117
	構成比	21.6	10.7	7.2	21.4	39.1	100.0
22	決算額	529,241	590,623	372,659	609,858	1,120,949	3,223,330
	構成比	16.4	18.3	11.6	18.9	34.8	100.0
23	決算額	564,006	366,736	384,860	630,621	1,096,182	3,042,405
	構成比	18.5	12.1	12.7	20.7	36.0	100.0
24	決算額	598,663	802,614	479,859	688,660	1,076,595	3,646,391
	構成比	16.4	22.0	13.2	18.9	29.5	100.0
25	決算額	587,849	645,945	689,249	1,624,725	2,939,543	6,487,311
	構成比	9.1	10.0	10.6	25.0	45.3	100.0
26	決算額	589,871	1,296,712	430,064	1,050,186	1,192,780	4,559,613
	構成比	12.9	28.4	9.4	23.0	26.3	100.0
27	決算額	601,976	424,752	869,766	1,214,440	1,183,454	4,294,388
	構成比	14.0	9.9	20.2	28.3	27.6	10.0
28	決算額	601,976	424,752	869,766	1,214,440	1,183,454	4,294,388
	構成比	14.0	9.9	20.2	28.3	27.6	10.0

Ⅲ 教育施設

[1] 教育施設の概要

生涯学習施設	生涯学習推進センター	1
	学習センター (公民館)	5
	図書館 (分館 5)	1
	郷土資料館	1
	青少年センター	1
学校教育施設	小学校	9
	中学校	5
	学校給食センター	1
スポーツ施設	福太郎アリーナ	1
	福太郎野球場	1
	福太郎テニスコート	1
	福太郎スタジアム	1
	市営キャンプ場	1
	東野少年野球場	1
	中沢みんなのスポーツ広場	1
	東初富テニスコート	1
	軽井沢多目的グラウンド	1
	佐津間多目的グラウンド	1
	四本柵多目的グラウンド	1
	中沢多目的グラウンド	1
	弓道場	1
	アーチェリー場	1
文化施設	市民会館・きらりホール	1
その他	県立高等学校	2
	私立幼稚園	9

[2] 生涯学習施設の状況

(平成29年4月1日現在)

名 称	所在地及び 電話番号	設置年月	構 造	敷地面積 (㎡)	延床面積 (㎡)
生涯学習推進 センター (まなびいプラザ)	富岡2-6-1 Tel 446-1111	平成6年4月	鉄筋コンクリ ート3階	1,614	1,959
東 部 学 習 セ ン タ ー	東道野辺4-9-50 Tel 441-0211	平成14年4月	鉄筋コンクリ ート2階 (地下1階)	3,838	2,663
中央公民館	富岡1-1-3 (きらり鎌ヶ谷市民会館内) Tel 445-2012	昭和52年4月 (平成26年4月移転)	-	-	778
北部公民館	佐津間631 Tel 446-1076	昭和57年10月	鉄筋コンクリ ート2階 北部地区学習等 供用施設併用	2,685	1,418
南部公民館	道野辺61 Tel 446-3031	平成元年4月	鉄筋コンクリ ート2階 南部地区学習等 供用施設併用	5,838 借地面積 (710)	1,498
東初富公民館	東初富1-10-1 Tel 446-5555	平成7年4月	鉄筋コンクリ ート2階 東初富地区学 習等供用施設 併用	3,123	1,585
図 書 館	中央1-8-35 Tel 443-4946	昭和52年5月 (昭和62年4月建替)	鉄筋コンクリ ート3階 中央地区学習等 供用施設併用	2,290	1,634
郷土資料館	中央1-8-31 Tel 445-1030	昭和62年4月	鉄筋コンクリ ート2階	480	668
青少年センター	富岡2-6-1 (生涯学習推進センター内) Tel 445-4393	昭和52年1月 (平成26年4月移転)	-	-	47

[3] 学校教育施設などの状況

1 小中学校

学校名	所在地及び 電話番号	創立年月	保有教室数		建 物			
			普通	特別	校 舎			
					鉄 筋	鉄 骨 その他	木 造	計
鎌ヶ谷小	中央2-1-1 Tel 442-1105	明治7年1月 (昭和45年移転)	36	7	5,512	35	—	5,547
東部小	鎌ヶ谷8-3-11 Tel 443-2070	昭和37年4月	22	7	4,853	122	—	4,975
南部小	中沢726-41 Tel 443-5148	昭和40年4月 (昭和49年移転)	15	7	6,472	117	—	6,589
北部小	栗野735 Tel 443-2410	昭和39年4月	13	5	3,733	53	—	3,786
西部小	初富110 Tel 443-6621	昭和42年4月	22	8	4,341	17	—	4,458
中部小	道野辺中央3-12-3 Tel 443-0029	昭和45年4月	31	6	4,557	545	—	5,102
初富小	東初富1-20-1 Tel 445-2321	昭和49年4月	22	10	6,320	192	—	6,512
道野辺小	東道野辺5-5-1 Tel 445-5041	昭和52年4月	24	10	5,963	24	—	5,987
五本松小	南初富1-16-1 Tel 445-2366	昭和53年4月	22	5	4,131	0	—	4,131
計			207	65	45,882	1,105	—	46,987
鎌ヶ谷中	富岡1-2-1 Tel 444-0456	昭和22年5月	22	13	5,816	245	—	6,061
第二中	東道野辺4-19-26 Tel 444-6751	昭和47年4月	21	12	6,041	1,155	—	7,196
第三中	栗野450 Tel 443-3473	昭和50年4月	14	14	6,320	116	—	6,436
第四中	中沢1024-1 Tel 444-2185	昭和54年4月	13	13	6,927	50	—	6,977
第五中	初富806-262 Tel 443-3410	昭和59年4月	15	13	7,029	66	—	7,095
計			85	65	32,133	1,632	—	33,765

2 学校給食施設

名 称	所在地及び 電話番号	設置年月	建物面積 (㎡)	敷地面積 (㎡)
学校給食センター	軽井沢2049-4 Tel 445-5640	平成26年4月	鉄骨2階 4,702	8,000

面 積 (m ²)				敷 地 面 積 (m ²)					水泳プール (m)
屋 内 運 動 場			計	建 物 敷 地	運 動 場	そ の 他	借 地	計	
体 育 館		柔 剣 道 場							
鉄 筋	鉄 骨	鉄 骨							
-	1,000	-	1,000	5,362	7,838	-	-	13,200	25×15
-	1,028	-	1,028	6,963	5,448	-	-	12,411	25×15
-	1,008	-	1,008	6,975	4,383	-	1,990	13,348	25×15
-	865	-	865	12,279	5,736	崖地 2,175	-	20,190	25×15
-	904	-	904	6,902	5,715	-	-	12,617	25×15
-	837	-	837	6,452	6,886	-	-	13,338	25×15
-	914	-	914	6,907	10,383	-	-	17,290	25×15
-	999	-	999	7,640	5,994	崖地 1,474	-	15,108	25×15
-	886	-	886	7,702	5,083	-	-	12,785	25×13
-	8,441	-	8,441	67,182	57,466	3,649	1,990	131,287	
1,230	-	341	1,571	8,514	10,736	-	-	19,250	25×10
-	1,027	536	1,563	9,584	9,443	-	-	19,027	25×15
-	995	513	1,508	7,052	15,504	-	-	22,556	25×15
-	999	429	1,428	11,433	8,681	崖地 1,397	-	21,511	25×15
-	1,002	509	1,511	13,177	17,491	-	773	31,441	25×15
1,230	4,023	2,328	7,581	49,760	61,855	1,397	773	113,785	

(1) 施設の内容

階	面積 (m ²)	主要室名
1	3900.06	玄関、食材搬入プラットフォーム、荷受室、検収室、下処理室、上処理コーナー、煮炊き調理室、和え物室、果物室、焼物・揚物・蒸物室、アレルギー専用調理室、コンテナ室、洗浄室・特別洗浄室、残滓処理室、回収・発送口、事務室、男女トイレ、多目的トイレ、機械室
2	1292.06	多目的会議室（兼調理研修室）、展示ホール、見学者道路、総合学習スペース、鎌っ子広場（防災避難広場）、背空ふれあい広場、環境学習テラス、給湯・配膳室、調理員休憩室、洗濯・乾燥室、男女トイレ、多目的トイレ

(2) 調理能力 10,000食/日

[4] スポーツ施設の状況

名 称	所在地及び 電話番号	設置年月	構 造	敷地面積 (㎡)	延床面積 (㎡)
福太郎アリーナ	初富860-3 Tel 444-8585	昭和57年4月	鉄筋コンクリート (屋根鉄骨2階建)	14,529	7,650
福太郎野球場	初富924-6 (市制記念公園内)	昭和46年9月	芝生舗装	8,829	—
福太郎テニスコート	〃	昭和51年5月	全天候型 砂入り人工芝	2,873	—
福太郎スタジアム	初富924-283 Tel 444-8585	昭和63年10月	クレイ舗装 芝生舗装	34,000	365
市営キャンプ場	中沢747-1 (市民の森内)	昭和61年4月	—	約5,000	—
東野少年野球場	初富806-15	昭和63年11月	クレイ舗装	9,997	—
中沢みんなの スポーツ広場	中沢841-2	平成3年11月	—	4,323	—
東初富テニ スコート	東初富1-808-28	平成3年11月	全天候型 砂入り人工芝	4,991	36
軽井沢多目的 グラウンド	軽井沢1987-3	平成13年10月	—	4,311	—
佐津間多目的 グラウンド	佐津間222-9	平成15年4月	—	9,920	—
四本棚多目的 グラウンド	初富721-2	平成18年8月	—	3,010	—
中沢多目的 グラウンド	中沢849-1	平成28年7月	—	2,400	—
弓道場	中沢843-1 Tel 446-5910	平成26年6月	鉄骨造 (射場、的場)	2,162 (弓道場及 びアーチェ リー場は同 敷地内)	221
アーチェリー場	中沢843-1 Tel 446-5910	平成26年6月	鉄骨造 (射場、的場)		30

[5] 文化施設の状況

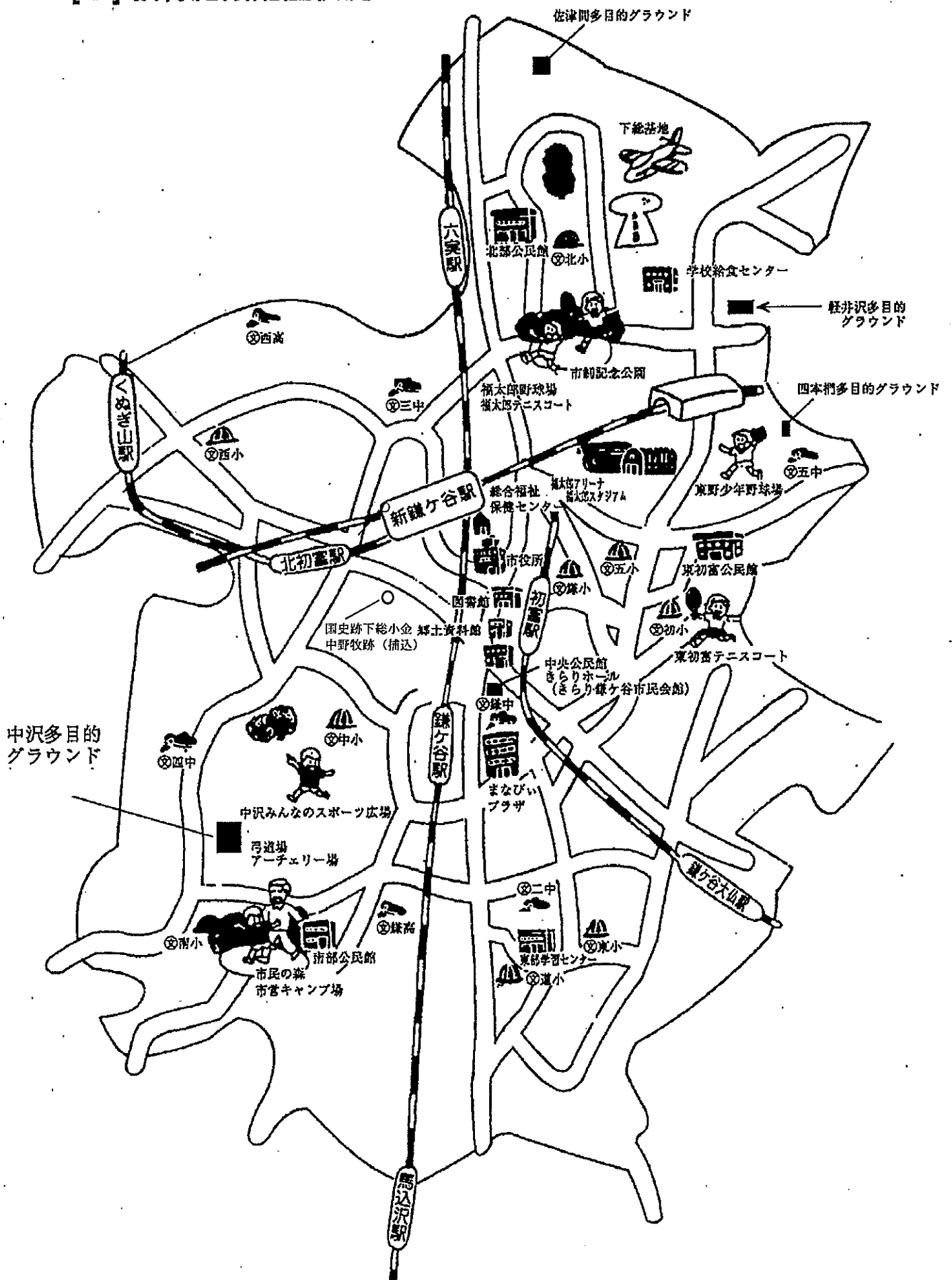
名 称	所在地及び 電話番号	設置年月	施設の構成
きらり鎌ヶ谷 市民会館	富岡1-1-3 (きらり鎌ヶ谷市民会館内) Tel 441-3377	平成26年4月	きらりホール・多文化共生推進センター・市民活動 推進センター/男女共同参画推進センター・中央 公民館・中央地区社会福祉協議会

主 要 施 設						開館（開場） 時間 又は時期	休館・休場日	
アリーナ		小体育室 302㎡	トレーニング ルーム 1	柔道場 84畳	剣道場 203㎡	会議室 1	9:00～21:00	12月29日～1月3日 及び臨時休館日
フロア 1,717㎡	観客席 1,302席							
両翼85mセンター100m スタンド（100名）						5月1日～9月30日 5:00～19:00 その他の期間 9:00～17:00	〃	
テニスコート4面						同上	臨時休館日	
400mトラック8コース メインスタンド800人収容 事務室1・本部室1・放送室1・医務室1・器具庫1・倉庫1・更衣室2						9:00～17:00	12月29日～1月3日 及び臨時休館日	
テントサイト10ヶ所、炊事場、便所、小ファイヤ場 ※市民の森 敷地面積12,175㎡（借地面積5,151㎡）							〃	
2面						5月1日～9月30日 5:00～19:00 その他の期間 7:00～17:00	〃	
多目的広場						9:00～17:00	〃	
テニスコート3面、管理棟、練習コート						5月1日～9月30日 9:00～19:00 その他の期間 9:00～17:00	〃	
少年野球1面、又は少年サッカー1面等						9:00～17:00	〃	
少年野球2面、又は少年サッカー1面等						〃	〃	
少年野球1面、又は少年サッカー1面等						〃	〃	
グラウンドゴルフ、ペタンク等						〃	〃	
管理棟、近的28m、射場（5人立ち）、的場						9:00～17:00 （事前予約があった 場合19:00まで）	〃	
射距離50m、射場（最大5人立ち）、的場						〃	〃	

名 称	所在地及び 電話番号	設置年月	構 造	敷地面積 （㎡）	延床面積 （㎡）
きらりホール	富岡1-1-3 （きらり緑ヶ谷市民会館内） Tel 441-3377	平成26年4月	—	—	2,133

主 要 施 設							開館（開場）時間 又は時期	休館・休場日
ホール客席	親子室	舞台 （舞台袖含む）	ホワイエ	練習室	楽屋1	楽屋2	9:00～22:00	12月29日～1月3日 及び臨時休館日
379㎡（832席） 東イス含む	12㎡ （8席）	247㎡	189㎡	52㎡	47㎡	28㎡		

[6] 教育施設配置状況



IV 学校教育

[1] 学校教育

1 運営方針

平成29年度 鎌ヶ谷市の学校教育

生きる力を育む

社会の急激な変化により、これまで人としてごく当然のことだと思われていた人とのかわりが希薄となっています。教育は、どのような社会にあっても、人とかわり、自ら考え、自己を表現しながら、人格の完成を目指します。そして民主的な社会の形成者を育てていくことがその使命であり、子どもたちに「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」をバランス良く身につけさせ、「生きる力」を育むことが求められています。

当たり前のことながら、教師には日々の授業を大切にすることが求められます。一人ひとりの教師の「授業力」が高まることで、「わかる授業」の展開につながります。この「授業力」を高めるためには、教師同士が常日頃より授業を見合ったり、教材研究をしたり、共に学び合うことが重要となります。これを「教師力」と呼び、その力を高めるには各学校の校内研修会を充実させることや、校外で行われる研修会への積極的な参加なども考えられます。そして、何よりも一人ひとりの教師が自ら求め、自ら高める研鑽が大切であるといえます。教師として『学び合い高め合う』ことが、子どもたちの「生きる力」を高めることにつながっていくと考えます。勿論、「授業力」や「教師力」を高めていくためにも、また、子どもたちへの指導の効果を高めるためにも、学校が力を合わせて取り組むという「組織力」が重要となることはいうまでもありません。

「授業力」「教師力」学校の「組織力」を一層高めていくことが大切です。

本市ではこれまでに、少人数教育指導教員（きり先生）、特別支援教育推進指導教員（ほほえみ先生）、学校図書館司書の全小中学校配置により、指導の充実を図ってきました。平成28年度からは、さらに理科支援員を小学校に配置し、理科教育の充実を図っております。そして教科化に向けての検討が進められている「小学校の外国語活動」の積極的な推進のために、3名のALT（中学校は各校1名）を配置しております。また、昨年度小中学校のコンピュータをリニューアルし新学習指導要領で新設される「プログラミング教育」の方向性を検討するとともに情報教育環境のさらなる整備に取り組んでまいります。

鎌ヶ谷市教育委員会は、豊かなかわりの中で子どもたちに「生きる力」を育むことを目指しています。そのために、教師は一人ひとりの子どもたちをしっかりと見つめ、ユニバーサルデザインの考え方を生かしながら「生徒指導の機能を活かしたわかる授業」を展開していかなければなりません。子どもたちが、確かな学力を身につけた上で、きちんと

挨拶ができ、心穏やかに相手と係わることのできる「豊かな人間性」を身につけることや、持続して学び続けるための「健やかな体」を培うことが本市の願いであります。今後も、学校・家庭・地域と連携を図りながら、子どもたちへの確かな学力、豊かな心、健やかな体の育成をめざしてまいります。

「学び合い、高め合う授業」をめざして

鎌ヶ谷市教育委員会では、生きる力の育成をめざし『「学び合い、高め合う授業」をめざして』をテーマとした授業づくりを推進し、新学習指導要領でも求められている「主体的・対話的で深い学び」の実現に取り組みます。

伝え合うことにより、一人ひとりの考えがみんなに広がる授業

今、子どもにつけたい力である「考える力」と「コミュニケーション能力」を伸ばすために、言語活動の充実と自分の考えを上手に伝え合う場の工夫が必要です。

子どもに自分の考えを持たせるには、自ら考えたい教材、心が揺さぶられる資料、多様な考えを引き出す発問が必要不可欠です。また、自他の考えの違いに気づかせるために、少人数等での話し合いの場を設定します。そこでは、何のために話し合うか、何を解決すればいいかという視点を明確にします。それぞれの考えを自分の言葉でぶつけ合うことにより、考えが深まり、互いを高めあうことにつながります。

相互の信頼関係を築く授業

生徒指導の目標は、自ら考え判断し行動するという自己指導能力の育成です。1時間1時間の授業の中に、友だちや先生に安心して考えを伝え、どんな意見の違いも認め合える温かい人間関係が必要です。そして、この学級の中で安心して学習できるという自己存在感が感じられ、学習の中に自己決定する場を設けることが大切です。

自由に意見を言い合える雰囲気は授業の中で作りあげるものです。

子どもの視点からつくる授業

子どもの実態を的確に把握した上で、学級や個々の能力・意欲から考えた、明確で「適度な負荷のある課題」を設定し、その解決に必要な時間を確保することが大切です。そして、1時間の授業を集中させて取り組ませるためには、子ども自身が1時間の流れが見通せる学習過程を示すことも重要です。また、子ども自身に授業を振り返らせることは、学習の定着・学習意欲の向上につながります。子どもたちが「何ができるようになるか」を明確にしながら「何を学ぶか」という学習内容と、「どのように学ぶか」という学びの過程を、「カリキュラム・マネジメント」を通して組み立てていきます。

教師自身は、授業の質を高めるために指導と評価の一体化を進めることが肝要です。

知識・技能が定着する授業

考え、判断し、表現する力の土台となるのが、基礎的な知識・技能です。

知識・技能は、具体物・ICT等の活用や、自ら体験する活動の中でより理解が深まり

ます。そして「くりかえし学習」「個に応じた支援」「家庭と連携した家庭学習」により、確実に定着させる必要があります。

だれにでもわかりやすく、安心して受けられる教育環境
～ユニバーサルデザインの視点を取り入れて～

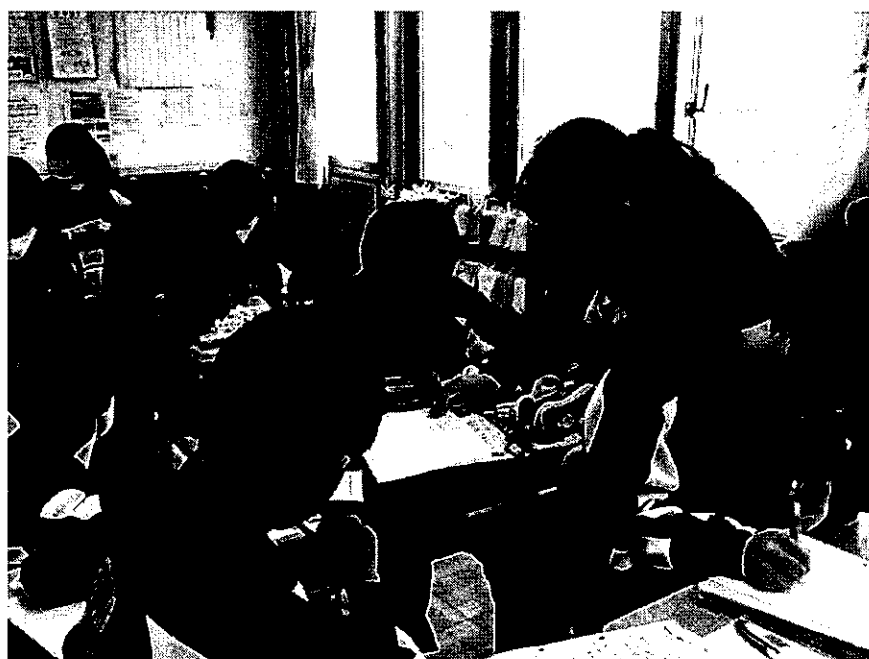
授業においてユニバーサルデザインの視点を取り入れることは、障がいのあるなしに関わらず、すべての子どもにとってわかりやすく情報が伝わり、学習意欲を喚起し、集中して考えやすい教育環境をつくることにつながります。必要な子どもには「ないと困る」、他の子どもにとっても「あると便利」な支援が行き届くことで、よりわかりやすく、より集中できる教育環境が整備され、すべての授業の土台となっていきます。

2 平成29年度 市教委（学校教育課）関係会議・研修・大会等の計画

会議関係

	会議関係	回	内容・ねらい
1	校長会議	12	学校運営の適正化を図る。
2	副校長・教頭会議	10	学校運営の円滑化を図る。
3	教育支援委員会	5	特別な支援を必要とする児童生徒の適正な就学について審議し、よりよい支援を行うための指導・助言を行う。
4	小学校音楽会運営会議	3	音楽会の運営について審議し、音楽会の充実を図ると共に、市内学校間の望ましい交流を深める。
5	中学生弁論大会運営会議	2	弁論大会の運営について審議し、内容の充実を図る。
6	教科書事務担当者会議	1	教科用図書、指導用図書の適正な配付に関する事務の円滑化を図る。
7	子ども議会運営会議（小学校）	1	社会科の学習に役立て、議会制度を理解し、鎌ヶ谷市の市政への関心が深まるよう運営する。
8	小中学校体育行事運営会議	1	体育行事の円滑な運営の推進、及び体育教育の充実を図る。
9	小中学校科学作品展運営会議	3	優れた科学作品の発表の場を設け、理科教育への関心を高める場になるよう運営する。

10	養護教諭会議	2	児童生徒及び教職員の健康や安全管理等における保健活動の円滑化を図る。
11	就学援助事務説明会議	1	就学援助に関する事務の円滑化を図る。
12	社会体験学習担当者会議 (推進協議会も含む)	3	活動内容の確認、情報交換を通して社会体験学習の充実と活動の円滑化を図る。
13	保・幼・小連絡協議会理事会	1	保・幼・小の連携を深め、一貫した教育を行うため研究協議を行い、情報交換、研修交流を行う。(各部会2回以上の会議を実施)
14	新規学校評議員会議	1	新規学校評議員を対象として、学校評議員制度のねらいについて周知を図る。
15	学校図書館担当者と図書館職員 の合同会議	1	市立図書館との連携を図ることにより、さらに充実した学校図書館の運営を行う。
16	学校図書館司書連絡会	4	小中学校の連携を図ることにより、さらに充実した学校図書館の運営を行う。
17	理科支援員研修会	3	理科支援員の技能向上と支援方法の工夫について研修を深める。

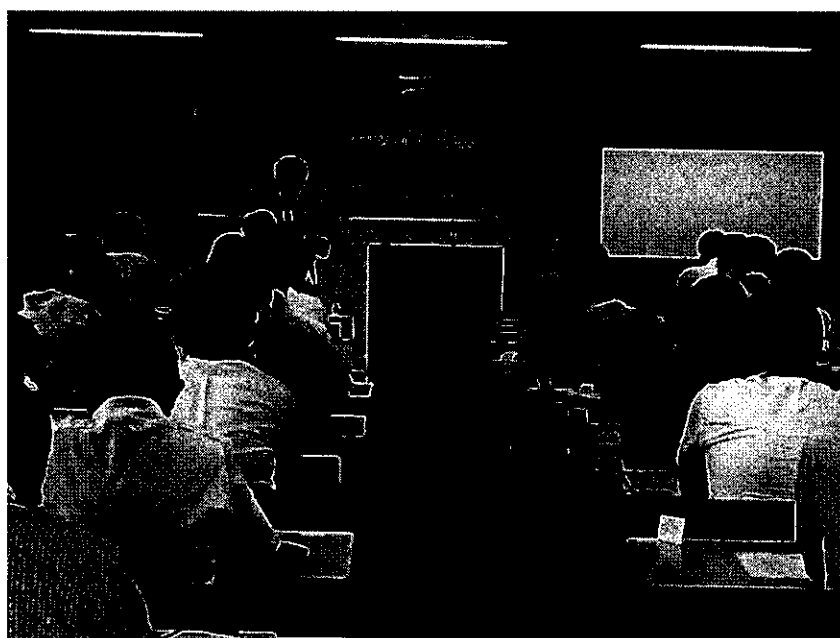


子どもたちの可能性を信じ、細やかな指導を行っていきます

研修関係

	研修関係	回	内容・ねらい
1	校長会研修	12	校長会研修を通して、見識を高め、学校運営の適正化に寄与する。
2	副校長・教頭会研修	10	教頭会研修を通して、見識を高め、学校運営の円滑化に努める。
3	教務主任研修会	2	学校教育の方針について審議し、内容の充実を図る。教育課程の具体的な編成、実践、評価上の諸課題の確認と改善のための力量を高める。
4	生徒指導主任・主事研修会	2	児童生徒理解を深め、生徒指導上の諸問題の解決に関する力量を高めるとともに、小中学校の連携を深める。
5	教育相談研修会	1	学校における教育相談の充実を図るため、児童理解・生徒理解の深め方、関係機関との連携のあり方を研修する。
6	長欠対策主任研修会	1	小中学校の連携を通して長欠児童生徒の現状を把握し、長欠対策主任の力量を高める。長欠の解消に努める。
7	小学校球技大会審判講習会	1	球技大会を円滑に推進するため、規則の理解や審判技術の向上を図る。
8	特別支援教育担当者研修会	1	特別支援教育の理解、個に応じた指導・助言のあり方について研修し、理解を深める。
9	コンピュータ主任研修会	1	学校における情報教育の指導者を育成し、各学校でのICT教育の推進を図る。
10	学力向上検討委員会	4	調査結果を分析し、課題を明確化し、授業改善の手立てを構築する。保護者へのよりよい啓発の方法も検討する。
11	特別な教育的支援研修会	1	特別な教育的ニーズをもつ児童生徒への支援の在り方について研修し、理解を深める。
12	学校事務職員研修会	7	学校事務管理の能率化、効率化について研修を深める。
13	学校三師研究協議会 (医科3回・歯科2回、薬科1回)	1 ～ 3	学校保健に関する諸問題について、共通理解を図ると共にその対策等について協議する。

14	市教委訪問事前研修会	1	市教委訪問を行う小中2校において、事前に指導案検討を行い研修を深める。
15	研究主任研修会	1	校内研修でリーダーシップを図れる人格を育成するために、研究の進め方や効果的な方法を研修する。
16	初任者研修会	6	教師としての資質向上を図り、実践的な力を養うための研修を行う。
17	給食主任研修会	1	学校給食の望ましいあり方について、担当者としての見識を深める。学校栄養士との交流を深める。
18	小中学校外国語担当者・ALT 合同研修会	1	小中学校の外国語担当者、ALTの交流及び指導力の向上を図る。
19	市少人数教育指導教員研修会 (きらり先生)	1	各学校における少人数指導の実践上の課題確認と改善のための力量を高める。
20	特別支援教育推進指導教員研修会 (ほほえみ先生)	3	各学校における特別支援教育推進上の課題確認と改善のための力量を高める。
21	道徳授業研修会	1	道徳における授業研修会を通して指導力を高める。
22	外国語教育研修会	2	次期学習指導要領を踏まえた、外国語教育の技能向上を図る。



児童生徒が抱える諸問題について専門家から学ぶ、心の教育講演会

大会関係

	大会関係	回	内容・ねらい
1	小学校陸上競技大会	1	陸上競技大会を通して体力・技能の向上を図ると共に、他校との交流を深める。
2	中学校陸上競技大会	1	陸上競技大会を通して、体力・技能の向上を図ると共に、他校との交流を深める。
3	小学校球技大会	1	球技大会を通して体力、技能の向上と心身の健全な発達を図ると共に、他校との交流を図る。
4	中学生弁論大会	1	自分の見方や考え方を確かなものにすると共に、豊かに表現する能力と態度を育成する。
5	特別支援学級合同運動会	1	特別支援学級に在籍する児童生徒の体力・技能の向上を図ると共に、他校との交流を深める。

発表会・作品展関係

	大会関係	回	内容・ねらい
1	小中学校科学作品展	1	児童生徒に創造的な教育活動の場を与えると共に、自然や科学に対する見方や考え方を養う。
2	特別支援学級児童生徒合同作品展 (鎌ヶ谷市教委・松戸市教委)	1	特別支援学級に在籍する児童生徒の学習成果の発表の場とすると共に、市民の特別支援教育に対する理解を深める。
3	小学校音楽会	1	音楽会を通して、児童生徒の豊かな情操を養い、音楽教育の充実を図るとともに、学校相互の望ましい交流を図る。
4	特別支援学級合同学芸発表会	1	特別支援学級の児童の表現活動を通し、更なる学習意欲を培うとともに発表会を通して、社会性を育てる。
5	特別支援教育作業学習作品展 (鎌ヶ谷市教委・松戸市教委)	1	特別支援学級に在籍する生徒の作業学習の成果を発表する場とすると共に、市民の特別支援教育に対する理解を深める。

その他の行事関係

	その他の行事関係	回	内容・ねらい
1	教科等指導員委嘱式	1	指導訪問時に各教科等や学級経営の指導を行う教員へ委嘱状を交付し、併せて教育指導方針の徹底を図る。
2	学校保健会総会	1	鎌ヶ谷市学校保健会の活動報告及び記念講演会。
3	小中学校良い歯のコンクール	1	口腔衛生に対する正しい知識を普及させ、予防処置の励行を徹底することにより健康の保持増進に寄与する。
4	子ども議会（小学校）	1	議会制度や市政への関心を育てると共に、議会のあり方等について学ぶ。
5	鎌ヶ谷市小中学校児童生徒表彰式	1	時代を担う児童生徒を育成するため、善行のあった者及び顕著な成績をあげた者を表彰する。
6	鎌ヶ谷市ふれあい体験学習	2	体験活動を通して自主性を育てるとともに、連帯感や仲間意識を育て、人とかかわる力を高める。
7	心の教育講演会	1	いじめや不登校など児童生徒が抱える諸問題について専門家から学ぶ。
8	中学生平和教育生徒派遣事業	1	市内中学生を長崎に派遣し、被爆者の体験講話や現地での平和学習などを通じて、被爆の実態を学ぶ。

平成29年度研究指定校一覧

	学校名	研究領域	指定年度	公開予定日	指定機関
1	西部小学校	道徳	平成28～30年度	なし	鎌ヶ谷市教育委員会
2	第三中学校	全教科	平成28～30年度	なし	鎌ヶ谷市教育委員会

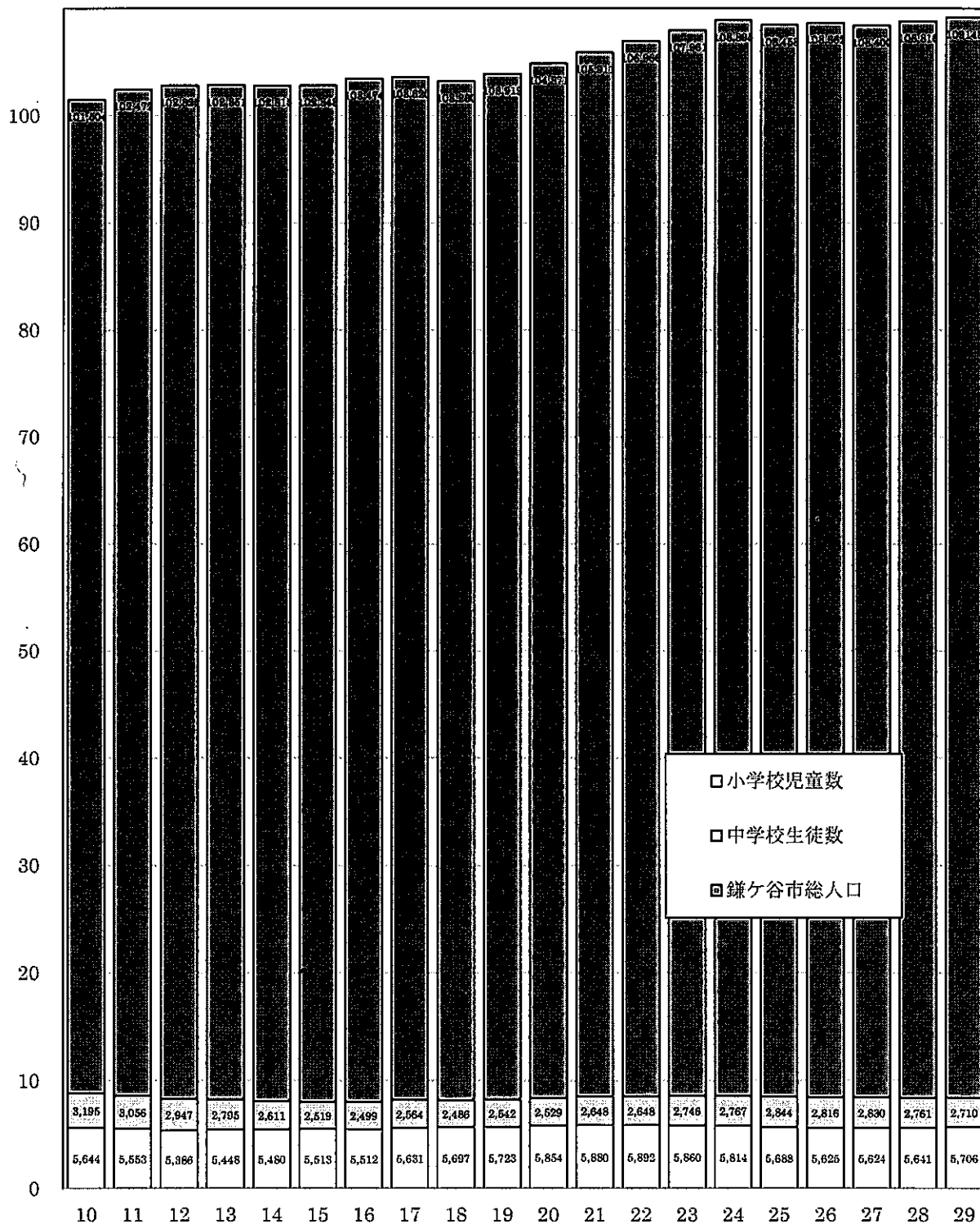
平成29年度公開研究会一覧

	学校名	研究領域	研究年度	公開日	指定機関
1	初富小学校	生活総合	平成28～29年度	10月27日	千葉県教育委員会
2	中部小学校	体育科	平成28～30年度	11月17日	千葉県教育委員会
2	鎌ヶ谷中学校	体育科	平成28～30年度	11月17日	千葉県教育委員会

3 市立小中学校の状況

(1) 人口と児童・生徒の推移

(千人)



※毎年5月1日現在人数（総人口は、千葉県毎月常住人口調査）

(2) 市立小中学校一覧

(H29. 4. 1現在)

学 校 名	住 所	電話 (FAX)	校 長	副校長・教 頭
鎌ヶ谷小学校	〒273-0124 中央2-1-1	442-1105 FAX 442-1106	松 岡 康太郎	副校長小田川 精宏 安 川 徹
東部小学校	〒273-0105 鎌ヶ谷8-3-11	443-2070 FAX 443-2076	小 島 邦 夫	細 川 雅 彦
南部小学校	〒273-0118 中沢726-41	443-5148 FAX 443-5149	土 岐 都 子	石 川 康
北部小学校	〒273-0132 栗野735	443-2410 FAX 443-2400	小 林 浩 之	池 田 護
西部小学校	〒273-0121 初富110	443-6621 FAX 443-6658	浅 岡 正 人	藤 山 保 夫
中部小学校	〒273-0113 道野辺中央 3-12-3	443-0029 FAX 443-0020	石 黒 茂	菅 井 洋 子
初富小学校	〒273-0122 東初富1-20-1	445-2321 FAX 445-2322	太 田 直 美	大 津 隆 男
道野辺小学校	〒273-0115 東道野辺 5-5-1	445-5041 FAX 445-5042	飯 塚 博 文	市 村 順 一 郎
五本松小学校	〒273-0123 南初富1-16-1	445-2366 FAX 445-2367	関 和 久	久 本 誠 一

鎌ヶ谷中学校	〒273-0101 富岡1-2-1	444-0456 FAX 444-0457	小 林 修 一	小 林 武 明
第二中学校	〒273-0115 東道野辺4-19-26	444-6751 FAX 444-6752	眞 田 学	吉 田 宏 中 野 由 博
第三中学校	〒273-0132 栗野450	443-3473 FAX 443-3474	鈴 木 吉 久	稀 代 嘉 規
第四中学校	〒273-0118 中沢1024-1	444-2185 FAX 444-2186	樋 口 敏 之	相 川 慶 彦
第五中学校	〒273-0121 初富806-262	443-3410 FAX 443-3420	島 田 伸	関 紀 久

(3) 市小中学校職員組織一覧

(H29. 5. 1 現在の定数)

学校名	性別	校長	副校長	教頭	主幹教諭・教諭	養護教諭	栄養教諭・学校栄養職員	事務職員	計	合計	技労主査・技労主査補・用務員等
鎌ヶ谷小学校	男	1	1	1	11				14	50	
	女				31	2	1	2	36		
東部小学校	男	1		1	9				11	29	
	女				15	1	1	1	18		
南部小学校	男			1	6				7	20	
	女	1			10	1		1	13		
北部小学校	男	1		1	5			1	8	20	
	女				11	1			12		1
西部小学校	男	1		1	7				9	30	
	女				19	1		1	21		
中部小学校	男	1			12			1	14	38	
	女			1	21	2			24		1
初富小学校	男			1	8			1	10	28	
	女	1			16	1			18		
道野辺小学校	男	1		1	11			1	14	31	
	女				16	1			17		1
五本松小学校	男	1		1	7				9	28	
	女				17	1		1	19		
小計	男	8	1	8	76	0	0	4	97	272	0
	女	1	0	1	151	13	2	7	175		3
鎌ヶ谷中学校	男	1		1	19		1		22	41	
	女				16	1		2	19		
第二中学校	男	1		2	20				23	39	
	女				13	1		2	16		
第三中学校	男	1		1	17				19	28	
	女				7	1		1	9		
第四中学校	男	1		1	15				17	25	
	女				6	1		1	8		
第五中学校	男	1		1	14				16	28	
	女				10	1		1	12		
小計	男	5	0	6	85	0	1	0	97	161	0
	女	0	0	0	52	5	0	7	64		0
男女別計	男	13	1	14	161	0	1	4	194	433	0
	女	1	0	1	203	18	2	14	239		3
合計		14	1	15	364	18	3	18	433	433	3

(4) 市小中学校編成一覧

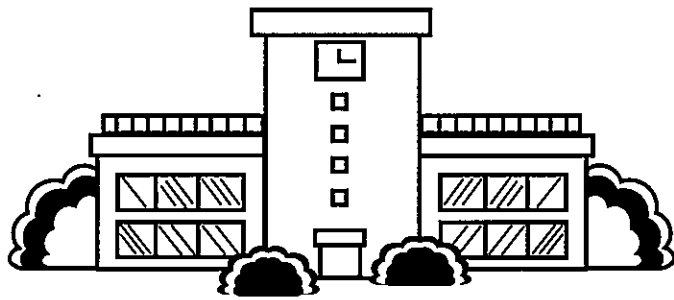
(H29. 5. 1現在)

学校名	1年		2年		3年		4年		5年		6年		特別支援学級	合計		
鎌ヶ谷小学校	102	111	97	89	83	89	85	103	92	75	84	79	19	1	562	547
	213		186		172		188		167		163		20		1109	
	7		6		5		5		5		5		3		36	
東部小学校	55	52	41	44	49	60	57	45	41	48	53	47	8	2	304	298
	107		85		109		102		89		100		10		602	
	4		3		4		3		3		3		2		22	
南部小学校	22	17	24	19	26	22	18	22	24	25	22	23	8	4	144	132
	39		43		48		40		49		45		12		276	
	2		2		2		2		2		2		3		15	
北部小学校	25	36	24	25	31	28	20	32	25	23	40	21	1		166	165
	61		49		59		52		48		61		1		331	
	2		2		2		2		2		2		1		13	
西部小学校	46	61	49	53	40	58	37	46	60	51	52	57	12	4	296	330
	107		102		98		83		111		109		16		626	
	4		3		3		3		3		3		3		22	
中部小学校	66	48	68	74	71	70	56	66	71	86	79	63	16	5	427	412
	114		142		141		122		157		142		21		839	
	4		5		5		4		5		4		4		31	
初富小学校	51	45	55	45	38	46	45	55	47	48	51	33	12	8	299	280
	96		100		84		100		95		84		20		579	
	3		3		3		3		3		3		4		22	
道野辺小学校	54	54	54	64	49	61	59	55	47	46	56	66	5	4	324	350
	108		118		110		114		93		122		9		674	
	4		4		4		3		3		4		2		24	
五本松小学校	55	64	56	51	53	61	53	50	50	58	56	54	5	4	328	342
	119		107		114		103		108		110		9		670	
	4		4		3		3		3		3		2		22	
市合計	476	488	468	464	440	495	430	474	457	460	493	443	86	32	2850	2856
	964		932		935		904		917		936		118		5706	

学校名	1年		2年		3年		特別支援学級	合計		
鎌ヶ谷中学校	104	110	104	100	108	137	13	6	329	353
	214		204		245		19		682	
	6		6		7		3		22	
第二中学校	111	99	112	103	100	120	10	3	333	325
	210		215		220		13		658	
	6		6		6		3		21	
第三中学校	64	69	69	72	68	72	4	3	205	216
	133		141		140		7		421	
	4		4		4		2		14	
第四中学校	75	46	78	81	71	64	/		224	191
	121		159		135				415	
	4		5		4				13	
第五中学校	91	82	102	70	94	95	/		287	247
	173		172		189				534	
	5		5		5				15	
市合計	445	406	465	426	441	488	27	12	1378	1332
	851		891		929		39		2710	

※表の見方

男	女
合計	
学級数	



[2] 学校紹介



鎌ヶ谷小学校



校長 松岡 康太郎

開校 明治7年

学級数 36学級

(特別支援学級含む)

児童数 1,109人

所在地 中央2-1-1

このような地域の変化に対応して、「生きる力を身につける児童の育成」をめざして、本校は以下の内容に重点を置いて、教育活動を進めています。

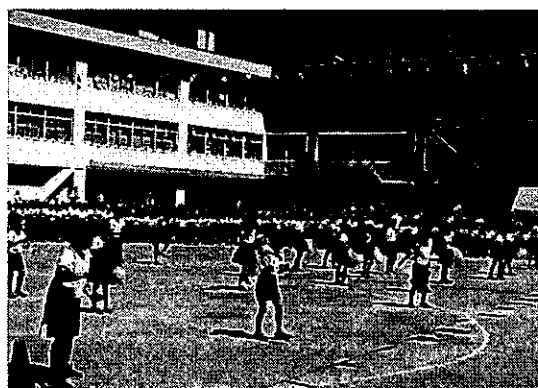
1. 教育目標

「生きる力を身につける児童の育成」

2. めざす児童像

「やさしく、たくましく、かしこい子」

- ・ 思いやりをもち、助け合う子
- ・ 元気にあいさつのできる子
- ・ 進んで運動する子
- ・ 何事にも努力し最後までやりぬく子
- ・ 自ら学び、じっくりと考える子



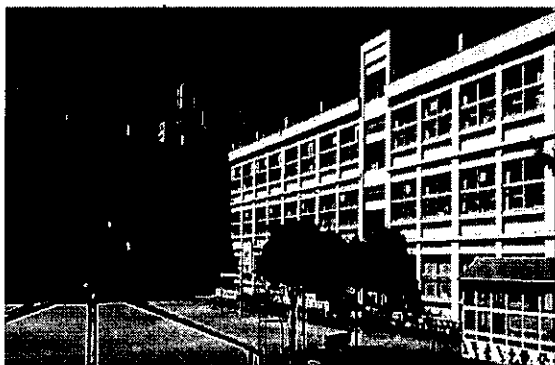
3. 沿革・特色・重点目標

本校は、鎌ヶ谷の地に最初に設立された学校で今年度144年目をむかえます。学区は南初富・初富本町地区を主体として、鎌ヶ谷市の中央に位置しています。新鎌ヶ谷駅周辺は、商店やスーパーが立ち並び都市化が進行しています。

- ① 一人一人を生かす教育の推進
(ユニバーサルデザインの視点を取り入れた教育環境 等)
- ② 美しく、安全な学校の推進
(安全な学校環境の確保と日々の安全指導の強化 等)
- ③ 思いやりのある豊かな心を育む
(「鎌小いじめ0」をめざして 等)
- ④ 子どもの健康と体力の増進を図る
(全教育活動を通じた体力の向上 等)
- ⑤ 確かな学力の向上
(算数科を通じた授業研究の充実
「主体的な学び」「対話的な学び」
「深い学び」についての研鑽 等)
- ⑥ 学校・家庭・地域の連携
(広報活動 地域の人材活用 等)



東部小学校



校長 小島 邦夫
 開校 昭和 37 年
 学級数 22 学級
 (特別支援学級含む)
 児童数 602 人
 所在地 鎌ヶ谷 8-3-11

1. 教育目標

やさしさ、かしこさ、たくましさ
 備えた児童の育成

2. めざす児童像

- 「進んで学習する子」
- 「礼儀正しくきまりを守る子」
- 「勤労を重んじ、自ら鍛える子」



運動会「東部ソーラン」

3. 沿革・特色・重点目標


本校は、木下街道・鎌ヶ谷大仏駅を中心
 に古くから発展した地域にあり、昭和
 37 年、鎌ヶ谷小学校第一分校から独立し、
 鎌ヶ谷町立東部小学校として発足しまし
 ました。昭和 40 年後半には児童数が 1600 名
 以上にまで増加し、昭和 49 年に初富小
 学校、昭和 52 年に道野辺小学校と分離し
 ました。現在、創立 56 年目になります。

平成 26 年度から 3 年間国語科の「書
 くこと」に重点を置いて研究に取り組み
 ました。平成 28 年度の 3～5 年生の学
 力テストの結果では、「書くこと」の正
 答率が 3 学年ともにすべて全国を上回
 りました。本年度も引き続き、国語科の研
 究に取り組み、「自分の思いや考えを豊か
 に伝えることのできる子どもの育成～『書
 く力』を生かした主体的・対話的で深い学
 びの実現を目指した授業作り～」研究主題と
 して、児童の思いを「豊かに表現」でき
 るよう授業改善を図っていきます。

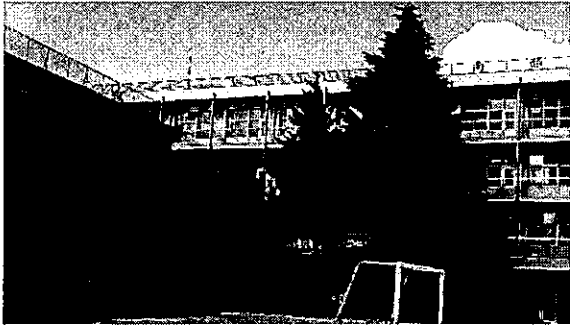


6年 薬物乱用防止教室

本年度の重点目標は、日々の実践の
 質の向上です。東部小 3 つの柱「日々
 の授業の質の向上」「さわやかな挨拶」
 「心を磨く清掃」を教職員も児童も常
 に意識しています。合言葉は「チーム東
 部」。地域の人材を活用した授業実践等、
 学校、家庭、地域が一体となり、よりよ
 い学校づくりを目指してまいります。



南部小学校



校長 土岐 都子

開校 昭和 40 年

学級数 15 学級

(特別支援学級含む)

児童数 276 人

所在地 中沢 726-41

1. 教育目標

意欲ある明るい子

—何事にも、一生懸命頑張ろうとする子—

2. めざす児童像

- ・ 学びを大切にする子
- ・ 友達を大切にする子
- ・ 遊びを大切にする子



3. 沿革・特色・重点目標

南部小学校の前身は、明治 7 年妙蓮寺に開校した道野辺簡易学校に求められます。その後明治 36 年に現スポーツ広場の位置に校舎が移転され、大正 11 年鎌ヶ谷尋常小学校第二分校となり、昭和 40 年に 6 学級（児童数 161 人）で南部小学校として独立しました。昭和 49 年に現在地の新校舎に移転となりました。

鎌ヶ谷市の南西部に位置しており、古くより梨の栽培を中心とした農家と新たに開発された住宅地よりなる学区です。学区の南部や南西部は、船橋市と市川市に隣接しています。東武アーバンパークラインの利便性もあって宅地の開発が進み、昭和 50 年代には全校児童が 1300 人を超える時期もありました。

平成 9 年に日本ハムファイターズタウンが開場し、本校は持久走会場として使用させてもらうなど、交流をもっています。



(重点目標)

- ・ 指導力の向上
- ・ 学力の向上
- ・ 学年、学級経営の充実
- ・ 道徳教育の充実
- ・ 安全、安心
- ・ 保健
- ・ 信頼される学校づくり
- ・ 特別支援教育
- ・ 特色ある学校づくり



北部小学校



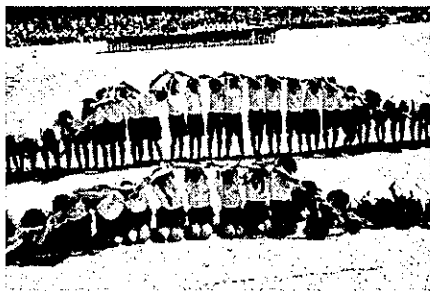
校長 小林 浩之
開校 昭和 39 年
学級数 13 学級
(特別支援学級含む)
児童数 331 人
所在地 栗野 735

1. 教育目標

「豊かな心を持ち たくましく生きる
「あさかっ子」の育成

2. めざす児童像

- ・あかるい子—健康で気力に満ちた子
- ・さわやかな子—思いやりと感謝の気持ちを持ち、規範意識のある子
- ・かしこい子—よく聴き、よく考え、正しい判断をし表現できる子



3. 沿革・特色・重点目標

本校は、明治16年開設の「湯浅里小学校」を源とし、昭和39年鎌ヶ谷小学校から分離独立した小学校です。栗野、佐津間、軽井沢の学区三地区の頭文字を由来とした「あさか」活動を見学育成の重要な機会と捉え、取り組んでいます。この「あさか」

活動は、従来は三地区を単位とした6年間同一の学年縦割り集団活動でしたが、現在は、地域の児童数の偏りなどから学区全体を単位と考えた縦割り異学年集団活動となっています。この活動を通して、人とかがわる力や豊かな人間性を育み、「確かな学力」や「豊かな人間性」、「たくましく生きるための健康や体力」の総体



である「生きる力」を備えている児童を「あさかっ子」と捉え、教育活動全体を通して「あさかっ子」の育成を推進しています。平成27年度からNIE (Newspaper in Education) 実践校としての指定を受け、実践テーマとして「ふれる・読む・考える」を設定して、校内研究のテーマ「伝え合う力の育成」と関連づけて、全学年で各教科・領域でNIE実践を進めています。全学年や学級；学校図書室前にNIEコーナーを設置して、新聞が子どもたちの身近にある環境の常設化も進めています。また、今年度は、「つくる」活動(新聞制作学習)も進めています。



栗 西部小学校



1. 教育目標

「学びあい」「大切にしあい」「鍛えあい」
強さと優しさをもった子どもの育成
—あそべく「あいさつ」「そうじ」
「勉強」の励行—

2. めざす児童像

- ・すすんであいさつができる子ども
- ・すすんで掃除に取り組む子ども
- ・すすんで勉強に取り組む子ども
- ・すすんで運動に取り組む子ども

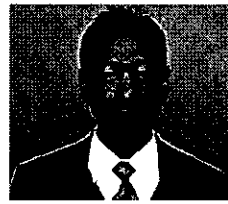


1, 2年 手つなぎ遠足

3. 沿革

本校は、昭和42年「鎌ヶ谷町立西部小学校」として開校しました。その後、昭和46年「鎌ヶ谷市立西部小学校」と改称。昨年度50周年を迎えました。学校の周囲は梨園や畑が残り、自然いっぱいの教育環境といえます。平成22年には校庭に「上総堀りの井戸」が完成し、観察池やピオトープに生かされています。

平成28年度より3年間、鎌ヶ谷市研究指定を受け、道徳の研究に取り組んでいます。道徳の教科化へ向け、授業の進め方、評価の仕方等について日々研鑽を重ねています。平成30年度公開予定となっています。



校長 浅岡 正人
開校 昭和42年
学級数 22学級
(特別支援学級含む)
児童数 626人
所在地 初富110

4. 本校の特色

①教科指導

確かな学力を身につけるために、きめ細かな指導で、基礎・基本の確実な定着や自ら学び自ら考える力の育成を図っています。算数科においては全学年で少人数、TTなど授業形態を工夫し、子ども達の学力向上に努めています。

②知徳体のバランスのとれた子どもの育成

道徳教育の充実には力を入れ、心の教育の時間確保を図っています。副読本・副教材の活用・映像教材の活用を積極的に行い、30年度道徳教科化へ向けての準備・研究を進めています。

③特別支援教育の充実

特別支援コーディネーターを中心に定例の校内委員会を実施しています。特別な支援の必要な児童の自立や社会参加に向けて、一人一人の教育的ニーズを把握して、その持てる力を高め、生活や学習の困難を改善克服するために適切な教育や指導を行っています。

④地域の人材・講師の積極的な招聘

図書ボランティア・花壇ボランティア・ワクワクスクール・パチパチ先生・交通安全推進隊・芸術文化協会・鎌ヶ谷再発見クラブ・お写楽保存会・その他学校支援地域本部の学習ボランティアの方々に来ていただいています。



6年 道徳授業研究会

5. 重点目標

- (1) 美しく潤いのある教育環境の整備
- (2) 学力の定着と向上
- (3) 児童理解に基づく生徒指導の充実・教育相談の推進
- (4) 児童一人一人のよさを育む学級経営の充実
- (5) 道徳教育の充実
- (6) 学校・家庭・地域との連携
- (7) 安全教育の推進

中部小学校



こと
・人



校長 石黒 茂
開校 昭和 45 年
学級数 31 学級
(特別支援学級含む)
児童数 839 人
所在地 道野辺中央 3-12-3

1. 教育目標

「考える子 やさしい子
たくましい子」の育成

2. めざす児童像

「あ・い・う・え・お」の児童

「あ」 あいさつのできる子

「い」 命を大事にする子

「う」 うんと勉強する子

「え」 笑顔で元気な子

「お」 思いやりのある子



地域の方々も学校に対して大変協力的で、児童の登下校を見守る交通安全ボランティアや不審者対策としての防犯ボランティアにたくさんの方々に参加してくださっています。

平成 27 年度より千葉県学校体育研究指定校として「運動好きを増やすための指導法の工夫」を研究テーマとしてさまざまな活動を学校教育の中で展開しています。その一環として「遊・友スポーツランキングちば」への積極的な取り組みを行い、生涯にわたって運動に親しもうとする子どもの育成を目指しています。また、「ピアタイム」として異学年との交流を通じて、思いやりをもって接する態度を養い、グループで協力して活動する態度を育てています。

3. 沿革・特色・重点目標

本校は昭和 45 年 4 月に鎌ヶ谷市立鎌ヶ谷小学校より分離開校しました。開校当時はプレハブの校舎でしたが、数次にわたる増築工事により、昭和 50 年度に現在の校舎の姿となりました。また、平成 22 年には体育館、25 年には本校舎及びプレハブ校舎の耐震工事が完了しております。平成 26 年度には、全教室に空調設備が導入され、適切な室温での学習や活動を行うことができるようになりました。

学力向上を目指した授業づくりに努めること、思いやりのある豊かな心を育み、一人一人を大事にすること、美しい、安全な学校づくりに努めること、子どもの健康と体力の向上に努めること、開かれた学校づくりに努めること、信頼される教職員をめざすことを重点目標として「考える子 やさしい子 たくましい子」の育成に努めています。



初富小学校

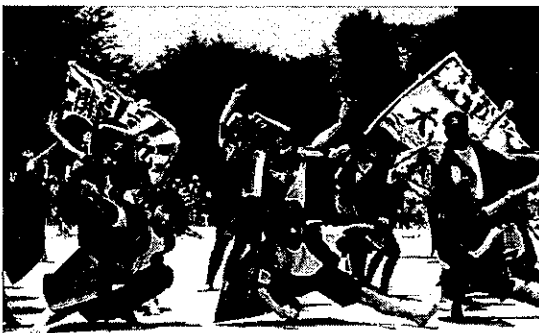


1. 教育目標

豊かな関わりの中で
たくましく生きる 児童の育成

2. めざす児童像

自立して生きる強さを備え、他と力を合わせながら、自分の夢に向かって進む人



運動会

3. 沿革・特色・重点目標

本校は鎌ヶ谷小・東部小より分離し、昭和49年に開校しました。先人たちが苦勞して開墾した地、「初富」の名前が校名に冠されており、鎌ヶ谷の歴史を物語っています。また、本校の敷地内には、国史跡「野馬土手」があり、昔の地域の様子を間近に感じることができます。



校長 太田 直美
開校 昭和49年
学級数 22学級
(特別支援学級含む)
児童数 579人
所在地 東初富 1-20-1

本校では、教育目標に「豊かな関わりの中で たくましく生きる 児童の育成」を掲げ、この達成のために、「学び合い、鍛え合い、助け合い、励まし合い、大切にし合い、元気なあいさつのできる子ども」を行動目標にしています。「愛と合いに満ちた学校」を胸に、日々教職員が一丸となって未来に活躍する笑顔いっぱいの児童を育てています。

学習面では、毎日10分間「わくわくタイム」として算数学習の充実を図ったり、放課後や夏休みに補習の機会を設けたりしています。また、読書活動を大切にし、保護者や地域の方のボランティアによる読み聞かせ活動などを行っています。

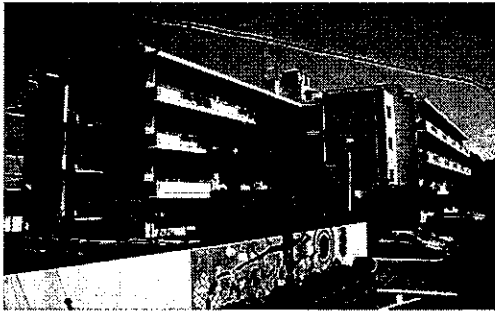


JRC登録式

平成27年度からは、3年間、日本赤十字社より青少年赤十字活動(JRC)の研究指定を受け、「自他の生命を大切にする児童の育成」を研究主題に、さまざまな活動を学校教育の中で展開しています。



道野辺小学校



校長 飯塚 博文
 開校 昭和 52 年
 学級数 24 学級
 (特別支援学級含む)
 児童数 674 人
 所在地 東道野辺 5-5-1

- ・東部小学校、南部小学校より分離独立
 - ・鎌ヶ谷市立道野辺小学校として開校
- 教職員 31 児童数 1029 24 学級

○昭和 57 年 (児童数ピーク時)

教職員 45 児童数 1336 32 学級

○平成 28 年 4 月 1 日 創立 40 周年

○平成 29 年度 (本年度 7 月 10 日)

- ・わかくさ (特別支援学級) が増設

教職員 33 児童数 676 24 学級

<特色>

○地域に根ざした学校

- ・「二中学区推進」「父親サミット」等、地域の方々と連携し子どもを育みます。

○地域の方や保護者の方からの人材活用

- ・外部講師の活用を行っています。

○特別支援教育

- ・特別支援学級「わかくさ」では、一人ひとりの教育的ニーズに応じた授業、交流・共同学習を行います。
- ・「ことばの教室」「コスモス教室」では、個別に学習支援を行います。

<重点目標>

○「生きる力」を育む授業を展開します。

- ・算数科を研究教科とし、わかる授業を模索し学力の向上を目指します。

平成 29 年度研究テーマ

「自分の考えを持ち

進んで表現できる児童の育成」

1 教育目標

『かしこく やさしく たくましい子』
 の育成

2 めざす児童像

○「あいさつ」「おもいやり」「感謝」の心を育てていきます。

- ・交流活動の行事を大切にします。
- 「道っ子発表会」「音楽を楽しもう会」等
- ・遊びを通した人間関係づくりと体力づくりを目指しています。

「いきいきタイム」(業間 20 分)

「ロング昼休み」(水曜日昼休み 45 分)

○豊かな心を育む読書活動の定着を目指します。

- ・全校一斉朝読書の実施
- ・読み聞かせボランティアによる読み聞かせ会
- ・司書配置や図書ボランティアによる図書室、絵本の部屋の整備充実



3 沿革・特色・重点目標

<沿革>

○昭和 52 年 4 月 1 日





五本松小学校



校長 関 和久
 開校 昭和 53 年
 学級数 22 学級
 (特別支援学級含む)
 児童数 670 人
 所在地 南初富 1-16-1

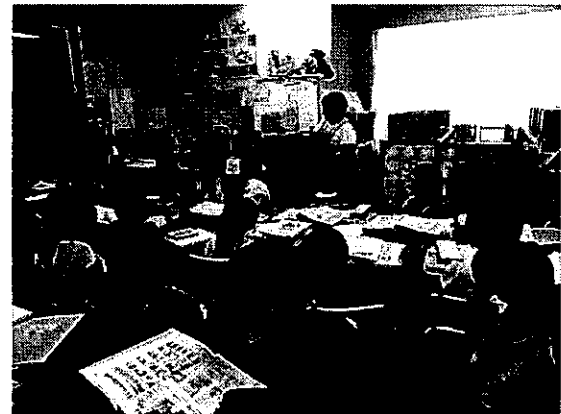
い状況でしたが、新鎌ヶ谷駅周辺の開発が進み、増加傾向が続いています。東京やその周辺に勤めるサラリーマンの家庭が多く、教育に対する関心も高いです。

1. 教育目標

「かしこく やさしく
 たくましい子ども」の育成

2. めざす児童像

- ・明るく元気にあいさつのできる子
- ・進んで学び学んだことを活用できる子
- ・自分や友だちを大切にし、思いやりのある子
- ・進んで運動する子
- ・物事に真剣に取り組み、やりぬく子



職員・保護者・地域の方々が一丸となり「チームGO!小」として、五小っ子のために活動しています。通学路の安全パトロール、図書室運営のためのボランティア活動による学校支援も盛んです。日課表に「朝学習・朝読書」の時間を設定し、月に一度図書ボランティアによる読み聞かせしていただいています。また、市立図書館のおすすめの本から選ぶ「五小っ子の好きな本総選挙」の取り組みなど、読書教育の推進を図っています。



3. 沿革・特色・重点目標

本校は昭和53年に児童数581名、教職員23名で鎌ヶ谷小より分離、開校し、今年度創立40周年を迎えました。学区は、新鎌ヶ谷3・4丁目、南初富1～3丁目、中央1・2丁目を主体として市の東北部に位置しています。かつては、梨・野菜類を栽培する農家が主体でしたが、近年、人口の流入が激しく、住宅が密集し都市化傾向が進んでいます。児童数は、横ば

今年の市内陸上大会では、やる気に満ちあふれた職員、6年生全員と5年生希望者で熱心に練習した陸上部が、約20年ぶりに男女総合優勝という創立40周年にふさわしい快挙を成し遂げました。

鎌ヶ谷中学校



1. 教育目標

「自ら学び 考え

判断できる生徒」の育成

2. めざす生徒像

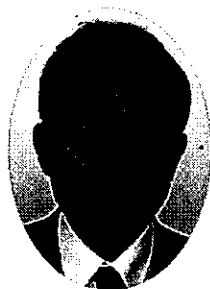
- (1) 基礎学力の充実（勉学、知育）
- (2) 礼節を身につける（礼節、徳育）
- (3) 気力・体力の充実（鍛錬、体育）



生徒総会

3. 沿革・特色・重点目標

昭和 22 年旧鎌ヶ谷村に開校し、現在 71 年目を迎える市内最大規模の中学校です。学校経営の重点は、「チームとしての学校」で 4 つの充実にあります。第一は「学びの充実」で、「わかる・できる」授業、「学ぶことが楽しい」授業を実現するために課題設定とまとめ、板書を重視した

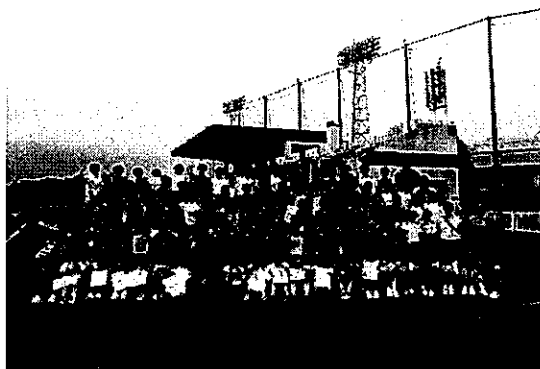


校長 小林 修一
開校 昭和 22 年
学級数 22 学級
(特別支援学級含む)
生徒数 682 人
所在地 富岡 1-2-1

授業展開に取り組んでいます。

第二は、「教育相談の充実」で道徳の授業とピアサポート学習等で、心の充実に努めています。第三は「生徒指導の充実」で、「挨拶」を重視し、様々な課題に対して早期発見・早期対応等、初期対応を重視しています。最後は「特別支援教育の充実」で、特別支援学級と通常学級との交流を活発に行い、通常学級における特別支援教育体制の充実に向けて、特別支援コーディネーター・特別支援教育推進指導教員との連携を強化しています。

特色ある取り組みとしては、福祉教育



市内陸上総合優勝（H29 年度）

に力を入れています。数十年前から J R C（青少年赤十字）委員が中心となり、アルミ缶を回収した収益金で福祉施設に車いすを寄贈し、ペットボトルのキャップを回収してワクチン寄付を実施しています。また、学校行事には地域のお年寄りの方を招待し、交流を深めています。



第二中学校



校長 眞田 学
 開校 昭和 47 年
 学級数 21 学級
 (特別支援学級含む)
 生徒数 658 人
 所在地 東道野辺 4-19-26



1. 学校教育目標

心豊かで、たくましく
 生きる生徒の育成

2. 目標とする生徒像

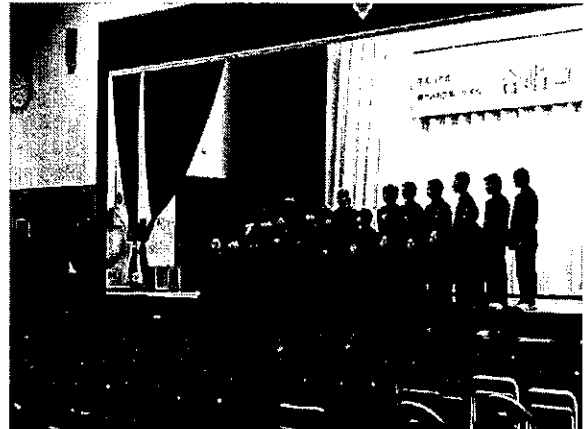
- (1) 進んで、学習する生徒
- (2) 健康で、よく働く生徒
- (3) 礼儀正しく、思いやりのある生徒



3. 沿革・特色・重点目標

- 昭 47. 4. 8 開校宣言
- 7. 3 校章、バッチ制定
 - 48. 3. 10 校旗、校歌制定発表会
 - 49. 2. 15 新校舎完成
 - 4. 10 体育館落成式挙行政
 - 50. 9. 10 プール開設記念式挙行政
 - 54. 4. 1 第四中学校が分離開校
 - 57. 3. 5 創立 10 周年記念碑建立

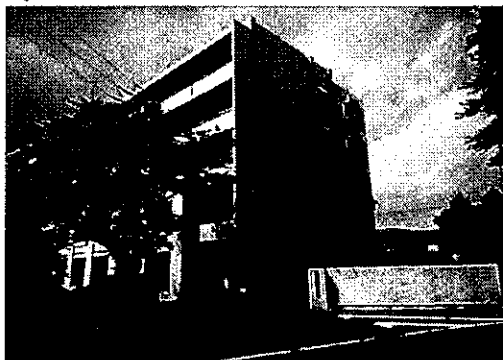
- 昭 58. 4. 8 生徒数最多 1691 名
- 59. 4. 1 第五中学校が分離開校
- 平 3. 11. 9 創立 20 周年記念碑建立
- 4. 4. 6 若草学級開校
- 13. 11. 17 創立 30 周年記念式典挙行政
- 14. 11. 6 千葉県女子駅伝 3 連覇達成
- 14. 11. 12 柔剣道場「誠練館」落成式
- 25. 10. 6 全日本ギターコンクール最優秀賞
- 27. 10. 23 市研究指定公開研究会実施
- 27. 12. 7 全教室に空調設備完成



今年度は、学級経営の充実・学びの充実・心の充実・生徒指導の充実・特別支援教育の推進・生徒会活動の充実を重点目標に掲げています。生徒が高い志を持ち瞳を輝かせながら学校生活を送れる学校、保護者・地域の方々が愛着を感じてくださる学校・信頼してくださる学校の創造に向け、教職員一同日々頑張っています。



第三中学校



校長 鈴木 吉久
 開校 昭和 50 年
 学級数 14 学級
 (特別支援学級含む)
 生徒数 421 人
 所在地 栗野 450

校長より (学校だより 4 月号抜粋)

今の世の中を見ると、先行き不透明な時代が続くと考えられます。この時代を生きて行く生徒にとって必要な力は、自ら学び、考え、判断し、課題を乗り越えようとする力です。このことを「生きる力」と呼びます。この「生きる力」をつけるために三中では、「心豊かで、自ら学ぶ生徒」という教育目標を設定しました。この目標に向けて取り組むことが「生きる力」を身につけさせられると考えています。そのために、学校では授業、部活動、委員会活動、学校行事等を展開していきます。

1. 教育目標

「心豊かで、自ら学ぶ生徒」の育成

2. めざす生徒像

- (1) 自ら学ぶ生徒
- (2) 礼儀正しく思いやりのある生徒
- (3) 心身ともに健康な生徒



【平成 29 年度林間学校・会津若松市】



【平成 29 年度修学旅行・広島市】

3. 沿革・特色・重点目標

昭和 50 年に開校しました。開発が進む新鎌ヶ谷周辺と梨畑のある自然豊かな地域です。地域との連携・協働が学校の推進力となっています。

○鎌ヶ谷市研究指定 2 年目

研究主題は『自ら学ぶ力を育むための指導のあり方』です。来年度の公開研究会に向けて 2 年目は「小中連携を意識した学習指導・生活規律の確立を通して」を副主題として取り組んでいるところです。



第四中学校



校長 樋口 敏之
 開校 昭和54年
 学級数 13学級
 生徒数 415人
 所在地 中沢 1024-1



また保護者や地域住民は学校行事やPTA活動に協力的で学校を支えて頂いています。



1. 教育目標

「意欲的に学び、礼節をわきまえ、
 自他を大切にする生徒」の育成

2. めざす生徒像

- めあてをもって学習に取り組む生徒。
- あいさつや場に応じた言葉づかいのできる生徒。
- 人の痛み、まわりの状況を考えられる生徒。

『学習意欲を図り「確かな学力」を育む』を研究主題として、下記のような特色ある教育実践を行っています。

【朝学習】

全校生徒が毎朝10分間の読書を行い、学習の基本である「読解力」を身につけます。

【JRC活動】

青少年赤十字加盟校として、今年度は県代表としてモンゴル派遣に1名参加予定。

【補習学習】

各学年とも夏季休業中に、不得意科目克服や基礎学力の充実を目指し、学習会を実施しています。

【学校行事】

・修学旅行では、広島を訪問し平和学習を行っています。

・3年間を通してキャリア教育を行い自身の進路決定の礎としています。



3. 沿革・特色・重点目標

本校は昭和54年4月1日、鎌ヶ谷中学校、第二中学校から分離し、鎌ヶ谷市立第四中学校として開校しました。今年で創立39年を迎える。本校の学区は南部小と中部小の二つの学区から構成されています。



第五中学校



校長 島田 伸
 開校 昭和 59 年
 学級数 15 学級
 生徒数 534 人
 所在地 初富 806-262

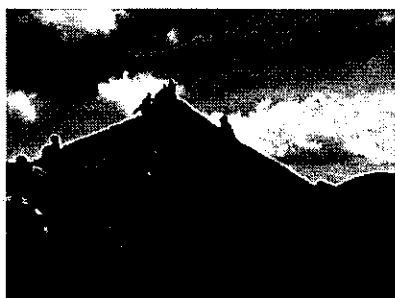


1. 教育目標

日々喜びと希望を持って生きる生徒
 の育成 ~自学 自律~

2. めざす生徒像

- ・豊かな心を持ち、思いやりのある生徒
- ・自らの良さを自覚できる生徒
- ・自ら学ぶ意欲と根気のある生徒
- ・自らを律する強い心と、たくましい体力を持った生徒
- ・家庭や地域の一員として生きる生徒



3. 沿革・特色・重点目標

昭和 59 年 4 月 1 日、鎌ヶ谷中学校及び第二中学校から分離し開校しました。

(生徒数 704 名)

昭和 61 年 3 月 15 日、第一回卒業証書授与式を挙行。平成 25 年 9 月 14 日、

創立三十周年記念事業を行っています。

特色としては、実践的体験活動を重視し、1 年生では鎌倉への校外学習、2 年生では福島への林間学校、3 年生では奈良・京都を中心とした修学旅行を行っています。また、地域とともに歩む学校づくりとして、PTA・部活動後援会による木犀祭の企画運営や部活動の組織的な応援を行っています。部活動も盛んで、平成 27 年度第 23 回全国中学校駅伝大会では第 3 位に入賞しています。



重点目標として、

- ①個を生かす生徒指導②学級経営の充実
 ③学力の向上 ④家庭・地域との十分な連携を掲げています。特に、学力向上ではユニバーサルデザインの視点を取り入れた授業展開を行っています。

[3] 学校保健・安全

1 運営方針

(1) 学校保健

ア 保健教育の充実

児童生徒が健康の重要性を理解し自ら健康管理ができるよう、保健学習、特別活動、総合的な学習の時間、学校行事を中心としながら、全教科・領域の指導を通じて各学年の発達段階に応じた指導を推進し、保健教育の充実を図ります。

イ 保健管理体制の強化

学校保健委員会の活発な推進を図り、学校、家庭、地域、学校医、学校歯科医、学校薬剤師、教育委員会とが一体となった組織的な保健活動を展開するとともに、各家庭で児童生徒の健康管理が適切に行われるようにアドバイスをを行います。

校内でのカウンセリング体制を整え、精神的なケアが必要な児童生徒への対応が積極的に行えるようにします。

健康診断の適正な実施を通じて、疾病・異常の早期発見に努めるとともに、事後措置についての指導徹底を図ります。

水質、照度、照明等環境衛生検査を確実に実施し、学校環境衛生の維持改善に努めます。

(2) 学校安全

ア 学校の安全管理

学校生活における児童生徒の安全を確保するため、各校の管理職をはじめ、安全主任を中心とした全教職員での組織的な校内安全点検・改善の徹底に努め、校舎内、校庭、施設、設備の安全管理の徹底を図ります。

イ 「通学路安全対策推進行動計画」の推進

児童生徒の登下校時における安全を確保するため、通学路の定期的な安全点検を実施するとともに、必要な整備・改善に取り組みます。

ウ 安全教育の推進

児童生徒が自ら危険を予測し回避する能力を育てるための、学校での安全指導を徹底するとともに、家庭・地域が一体となって児童生徒の交通安全に取り組みます。

2 主要事業

(1) 学校保健

ア 小中学校保健講演会

小中学校における児童生徒の健康管理や保健に関する教育、各家庭における児童生徒の健康管理を一層充実するため、医療関係者や教育関係者等の講師を招聘し講演会を実施します。

イ 小中学校良い歯のコンクール

毎年6月の歯、口の健康週間に合わせて、口腔衛生に対する正しい知識について指導するとともに、予防処置の励行を徹底することによって、児童生徒の健康維持・増進に寄与を図ります。

健歯児童生徒及びむし歯予防の図画・ポスター入選者の表彰とあわせて、市の歯科衛生士による歯磨き指導を実施します。

ウ 巡回保健指導（歯科）

むし歯予防のためには、食後の歯みがきを習慣として身につけることが重要です。「めざそう8020」を合言葉に、市の歯科衛生士が小学校1年生、5年生及び小中学校特別支援学級を対象に指導を実施します。

エ フッ化物洗口

丈夫な永久歯をつくり、むし歯を予防するため、平成26年度の1年生から開始し、毎年1学年ずつ実施学年を増やしていきます。現在実施しているのは、モデル校（北部小学校）の全学年と、モデル校以外の小学校1年生～3年生、全小学校の特別支援学級、中学校特別支援学級2校です。1年生入学時に希望調査を行い、小学校は週1回法、中学校は毎日法でフッ化物洗口を行います。

(2) 学校安全

ア 義務教育施設維持補修事業

老朽化した施設、設備等について、計画的に施設改修を行い、学習環境の向上を図ります。

イ 通学路安全対策事業

児童生徒が安心して登下校できる安全な通学路を確保するために、第三次通学路安全対策推進行動計画に基づいて、通学経路上にある安全対策が必要な箇所の環境整備に取り組みます。

ウ 安全・安心の日

毎月、原則として10日を市内一斉に「安全・安心の日」として位置付け、小中学校校内の安全、通学路を始め学区の安全について点検活動を実施し、一層の安全確認と管理を徹底するとともに、児童生徒への安全指導の重点日とします。

エ 安全教育推進事業

校内で児童生徒、保護者等が心肺停止になったとき、救命活動に小中学校に導入したAEDが活かせるように教職員及び児童生徒に対して応急手当講習を実施します。

[4] 学校給食

1 運営方針

- (1) 児童生徒が食生活の正しい理解と望ましい習慣を身につけられるよう、学校、家庭、地域社会がともに連携し、学校給食を生きた教材として活用し、「食」に関する指導を充実します。
- (2) 安全でより良い学校給食を提供するため、栄養と献立の工夫に努め、高度な衛生管理システムに基づく運営や施設設備の維持管理などに努めます。

2 学校給食の目標

- (1) 適切な栄養の摂取による健康の保持増進を図ります。
- (2) 日常生活における食事について正しい理解を深め、健全な食生活を営むことができる判断力を培うとともに望ましい食習慣を養います。
- (3) 学校生活を豊かにし、明るい社交性及び協同の精神を養います。
- (4) 食生活が自然の恩恵の上に成り立つものであることについての理解を深め、生命及び自然を尊重する精神並びに環境の保全に寄与する態度を養います。
- (5) 食生活が食にかかわる人々の様々な活動に支えられていることについての理解を深め、勤労を重んずる態度を養います。
- (6) 我が国や各地域の優れた伝統的な食文化についての理解を深めます。
- (7) 食料の生産、流通及び消費について、正しい理解に導きます。

3 運営委員会

学校給食センターの円滑な運営を図るため、学校給食センター運営委員会を設置し、定期的に会議を開催します。

4 施設

(H29.5.1現在)

施設	対象	学校	児童・生徒数
学校給食センター 鎌ヶ谷市軽井沢2049-4 TEL 047-445-5640	小学校	9校	5,706人
	中学校	5校	2,710人
	合計	14校	8,416人

5 学校給食費及び年間給食日数

区分	給食費月額	給食費年額	年間給食日数
小学校	4,270円	46,970円	184日
中学校	4,860円	53,460円	184日

- ・納められた給食費は、給食の食材を購入するために使われます。
- ・給食費は、安全、確実、利便性などを考慮して保護者の銀行口座から自動的に引き落とす口座振替で納めていただきます。

6 給食物資購入方法

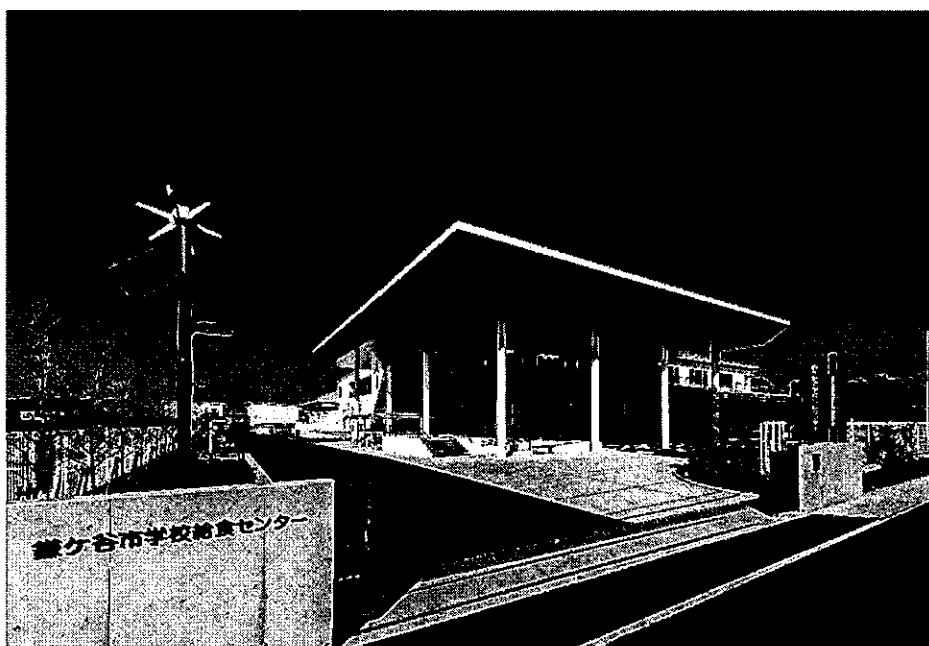
市登録業者による指名競争入札及び随意契約により購入しています。

7 給食内容

小学校1献立、中学校1献立の計2献立を採用し、完全給食を実施します。

また、主食の米飯、パン、麺類をバランス良く取り入れ、献立内容の多様化に努めています。

食物アレルギー対応としては、除去食（「卵・乳」と「卵・乳・落花生」を除去した2種類）を提供します。



おいしい給食を各小中学校へ

V 生涯学習

[1] 社会教育

1 運営方針

現在の情報化、国際化、少子高齢化などの社会変化の中で、絶えずその変化への対応が求められています。

このため、市民一人ひとりが健康で心豊かな生活を営めるよう、生涯学習活動に参加しやすい環境を整備し、生涯学習活動の推進に努めます。

2 主要事業

(1) 社会教育関係職員の研修

多様な市民の学習要求や学習活動に対応すべく、社会教育関係職員の資質向上を図るため、各種研修会等への積極的参加を進めます。

(2) 社会教育関係団体等の育成・援助

地域に根ざした団体活動の充実、活性化のために求めに応じて援助・育成に努めるとともに必要な助成を行います。

(3) コミュニティスクール推進事業

学校を地域の生涯学習の拠点として、市民の学習や交流の場となるよう地域に開放し、地域住民の生涯学習活動を支援するとともに、学校・家庭・地域相互の連携・協力を推進し、地域の教育力の向上に取り組みます。また、学校の教員等を講師としたコミュニティスクールオープンセミナーを開催します。

なお、本事業の運営は、小中学校全校にコミュニティスクール運営委員会を設置して行います。

(4) 家庭教育支援事業

家庭の教育力の低下が社会問題化している現在の状況に鑑み、「家庭」をテーマにした川柳の募集、「早寝・早起き・朝ごはん」運動の推進等を行い、家庭教育の啓発・支援に努めます。

[2] 青少年の健全育成

1 運営方針

青少年健全育成指導体制の充実を図るため、学校、家庭、地域、行政の持つ機能を相互に連携させた青少年健全育成指導体制の充実を図ります。

社会参加や体験活動を促進するため、青少年が、社会体験や人との交流を通じ社会性や社会規範を身につけ、自立心や思いやりの心を培うことができるように努めます。

非行防止対策の推進を図るため、青少年の健全な成長を阻害する環境の浄化や、関係機関や団体との連携を深め、補導活動の強化並びに地域ぐるみで非行防止活動を行います。

家庭や地域の教育力の向上を図るため、家庭や地域社会における子どもの安全についての意識を高め、青少年団体やPTA等の活動の活性化を促します。

2 主要事業

(1) 元気っ子ゼミナール

さまざまな体験活動を通して、主体性や協調性を身につけるとともに、青少年リーダーにふさわしい人格の涵養を図ります。本事業は、鎌ヶ谷市子ども会育成会連絡協議会との共催で実施します。

(2) 青少年育成中学校区推進事業

青少年育成の重要性に鑑み、地域住民と関係諸団体とが一体となって、次代を担う青少年の健全育成を推進することを目的に、各中学校区に推進委員会を組織し、学区ごとに「花植え」「あそび&もちつき大会」「市内パトロール」「夏まつり」等の活動を行います。

(3) 青少年相談員事業

地域での青少年の健全育成の担い手として、20歳から55歳の男女47名が県知事及び市長から委嘱されます。相談員は、各小学校区に5～6名で、学校や地域の団体と連携し、子どもたちと接する機会を設けるなど、地域に密着した活動を行います。

また、連絡協議会を組織して、「オーバーナイトハイキング」等を開催します。

(4) 成人式

成人に達する青年男女を祝い励ます事業として実施します。記念事業については、新成人を中心とした実行委員会を設置し、自ら企画準備を行い実行することにより成人としての自覚を促すとともに、魅力ある事業運営に努めます。

(5) 北海道士幌町交流事業

士幌町の児童14名をホームステイで受け入れ、本市児童と交流します。(北海道ファームステイ事業と交互に隔年実施)

[3] 芸術・文化

1 運営方針

(1) 芸術・文化の振興

市民の芸術・文化活動の発表及び参加の場をより多く提供するため、各分野において関係団体と連携し、様々な行事を開催するとともに、優れた芸術文化に触れる機会を広く提供するため、芸術鑑賞事業を開催します。

地域文化の醸成を図るため、市は市民団体と調整を図りながら、参加団体や活動人員の裾野を広げるため、参加機会の創出を図ります。

(2) 文化財保護

市内に所在する文化財の毀損・滅失を防ぎ、保護・活用するため、指定化に努めます。

埋蔵文化財については、各種開発等から保護するため、開発に先立って発掘調査を行い、記録保存します。なお、発掘調査の結果については報告書等を刊行します。

また、国史跡下総小金中野牧跡の周知普及事業を実施するとともに、市民参加による捕込清掃活動等を実施し、史跡地の適正な管理を行います。

2 主要事業

(1) 文化振興

ア 芸術鑑賞事業

優れた芸術文化にふれる機会として、古典芸能に対する興味と関心を喚起し、また、芸術作品の鑑賞能力を高め、豊かな情操の涵養に資するため、鑑賞機会を広く提供します。

イ 市民文化祭

市民の日頃の芸術文化活動の成果を展示・発表・参加する機会を提供し、優れた芸術文化につつまれた活気あふれるふるさとをつくることを目的に、芸術文化団体が主体となる実行委員会を組織して実施します。本年度は、きらり鎌ヶ谷市民会館などを会場として10月7日（土）～11月12日（日）までの期間で開催します。

ウ 文化講演会

市民の生涯学習活動への参加を促進し、併せて芸術文化の振興に資することを目的に、様々な分野の第一線で活動している方々を講師に招き実施します。当事業は、鎌ヶ谷市芸術文化協会と共催で実施します。

エ 美術展覧会（市展）

市民の美術に対する意識を高め、当市の美術文化の振興を図ることを目的に、公募方式による展覧会を鎌ヶ谷市美術家協会が主体となる実行委員会を組織して実施します。

(2) 文化財保護

ア 国史跡下総小金中野牧跡保存整備事業

下総小金中野牧跡・捕込及び野馬土手を永く保存し、市民共有の財産として活用するため、市民団体の代表等から構成される国史跡周知普及実行委員会による各種周知普及活動を実施します。また、史跡の環境整備のため、市民参加による捕込清掃活動等を実施します。

イ 文化財の指定及び指定文化財の助成事業

市内に所在する貴重な文化財が滅失したり、毀損することがないように文化財審議会の意見を受け、指定を進め保護に努めます。

ウ 埋蔵文化財発掘調査事業

各種開発から埋蔵文化財を保護するため、文化財保護法に基づき発掘調査を実施し、記録保存を行ない、その成果を報告書等として刊行します。また、平成28年度に本調査を行った一本松遺跡の整理作業を実施します。

3 鎌ヶ谷市指定文化財一覧

国指定文化財		所在地	管理者
1	下総小金中野牧跡	東中沢2-1他	鎌ヶ谷市
県指定文化財			
1	小金中野牧の込跡	東中沢2-1他	個人
市指定文化財			
1	鎌ヶ谷大仏	鎌ヶ谷1-5	個人
2	官軍兵士の墓	鎌ヶ谷1-5	宗教法人
3	魚文の句碑	東鎌ヶ谷1-7	市教委
4	清田家の墓地	鎌ヶ谷3-3	個人
5	駒形大明神	鎌ヶ谷3-3	個人
6	錦絵「貴婦人の図」	道野辺中央3 所在	個人
7	版画集「子ども遊戯風俗」	道野辺中央3 所在	個人
8	庭訓往来三月之部	中沢 所在	個人
9	土地記念講碑	北初富6-1	宗教法人
10	豊作稲荷神社「手洗鉢」	北初富221-1	団体
11	豊作稲荷神社 額「絵馬」	北初富221-1	団体
12	豊作稲荷神社「鈴」	北初富221-1	団体
13	豊作稲荷神社 額「豊作社」	北初富221-1	団体
14	渋谷総司書簡	中佐津間1 所在	個人
15	三橋家の墓地（歴代墓石含む）	中沢646	個人

16	制札「慶応四年太政官布告」	(1号) 道野辺中央5 所在 (2号) 中央1-8-31	(1号) 個人 (2号) 市教委
17	妙蓮寺板碑及び五輪塔	東道野辺1 所在	宗教法人
18	北方前板碑	中央1-8-31	市教委
19	大仏板碑	中央1-8-31	市教委
20	キンモクセイ	栗野 所在	個人
21	道標地蔵	南鎌ヶ谷3-6-43	団体
22	おしゃらく踊り	軽井沢地区	保存会
23	庚申道標	鎌ヶ谷1-6-1	宗教法人
24	百庚申	鎌ヶ谷1-6-1	宗教法人
25	八幡春日神社の森	中沢907外	宗教法人
26	根頭神社の森	道野辺50他	宗教法人
27	下総牧開墾局知事北島秀朝等旅宿看板	中央1-8-31	市教委
29	栗野庚申講	栗野208	団体
30	栗野庚申塔群	栗野208	団体

※No. 28は欠番

[4] スポーツ・レクリエーション

1 運営方針

(1) スポーツ・レクリエーション活動の充実

市民が、幼児から高齢者まで、気軽に地域スポーツ・レクリエーションが楽しめる、生涯スポーツ社会を目指します。

(2) スポーツ・レクリエーション環境の整備

市民が、気軽にスポーツ・レクリエーションが楽しめる、施設の整備運営を目指します。

2 主要事業

(1) スポーツ活動の充実

ア 目的

広く市民の間にスポーツを普及し、市民の健康増進と体力向上を図り健全な市民生活の推進に寄与するものです。

イ 全体計画

より多くの市民がスポーツ活動に参加する機会を提供します。

ウ 実施内容

スポーツ施設への指定管理者制度導入に伴うメリットである民間企業の運営ノウハウやサービスを前提とした市民のための各種スポーツ教室の開催、また、日常スポーツ活動の促進を図るため、市民体育大会、新春マラソン大会、長寿大運動会をはじめ、ウォーキングや軽スポーツ等気軽にできるスポーツ講習会等を開催します。

(2) スポーツ関係団体・指導者の育成

ア 目的

各種スポーツの市民大会などを通じて競技スポーツ活動の推進を図り、スポーツ関係団体の育成と自主的活動を促進します。

イ 全体計画

市民大会の開催や研修会への参加促進を行います。

ウ 実施内容

市民体育館等の各種施設にて、市民体育大会を実施します。

また、各種スポーツ指導者の育成等に努め、自主的な研修等を促進します。

(3) スポーツ施設の整備・充実

ア 目的

市民のスポーツ活動に資するため、スポーツ施設の整備・充実を図ります。

イ 全体計画

平成28年度～平成32年度は、陸上競技場を日本陸上競技連盟の公認記録を取得

できるように改修します。

ウ 実施内容

陸上競技場のフィールド、トラック、スタンドの改修及び日本陸上競技連盟第4種公認取得に必要となる備品を購入します。

(4) 北海道日本ハムファイターズとの連携

ア 目的

北海道日本ハムファイターズを本市の貴重な地域資源として活用し、まちの活性化を図ります。

イ 全体計画

市が架け橋となり、市民と北海道日本ハムファイターズとの交流機会を設けます。

ウ 実施内容

北海道日本ハムファイターズと「鎌ヶ谷ランフェスタ」「野球教室」「軽スポーツ事業」などの連携事業を推進するほか、ファイターズ鎌ヶ谷スタジアムの開場20周年を記念し、記念事業を実施します。

[5] 生涯学習推進センター

1 運営方針

本市の生涯学習推進基本計画の実現に向け、関係機関や関係施設と連携・協力し、それぞれの役割を分担しながら、学習機会の充実と学習情報の収集・提供等を行い、いつでも・どこでも・だれでもが学ぶことができる生涯学習社会の構築を推進します。

2 重点項目

(1) 学習機会の拡充

生涯の各時期に応じて必要となる学習課題や現代的課題を取り上げた学習機会の充実をめざし、関係機関や関係施設と連携協力し、事業の拡充に努めます。

(2) 学習情報の収集提供

市民の必要とする新しく、かつ豊富な学習情報を提供し、多様な学習ニーズや相談に柔軟に対応できるよう関係機関との連携を強化し、情報の収集に努めます。

(3) 普及啓発活動と学習活動の奨励

市民の生涯学習意欲に対する意識を高めるため、さまざまな機会をとらえ、各種広報の活用などに努めるとともに、学習活動の活性化を図るため、学習活動発表の場を提供し、学習活動成果の顕彰に努めます。

(4) 関係施設間ネットワークの充実

市民ニーズに対応した生涯学習施策を効果的に実施するため、関係施設間において情報の共有化を図るなど、ネットワークの充実に努めます。

(5) 学習指導者の養成と活用

生涯学習活動が円滑に行われるよう、経験・専門性・技能等を有する学習指導者の養成とその活用に努めるとともに、学習機会の支援に努めます。

3 主要事業

重点項目	主要事業名	概要
学習機会の拡充	生涯学習推進研修（職員） まなびいプラザパソコン講座 かまがやまなびい大学	生涯学習の今日的課題 「初めてのパソコンを楽しもう！」他 行政課題の職員出前講座 各学部による主催講座
学習情報の収集・提供と相談の充実	学習情報の提供	学習情報の収集・提供
普及啓発活動と学習活動の奨励	さわやかまなびい100 市民文化賞等の表彰	対象事業 全93事業 文化・スポーツ等の分野において、優れた業績をあげた者を顕彰する
関係施設間ネットワークの充実	関係施設担当者会議 近隣市等関係施設連絡調整	随時 随時
学習指導者の養成と活用	読み聞かせボランティア アドバンス研修	本の読み聞かせ指導者研修
その他	関係施設との連絡調整 施設の管理運営	県民プラザ・社会教育研修所研修 施設管理運営と関係施設との調整

[6] 学習センター

1 運営方針

生涯学習推進重点施策及び生涯学習推進センター運営方針に基づき、地域住民の生涯にわたる学習活動を支援する学習センターは、生涯の各時期の生活課題や学習要求を的確にとらえ、学習機会の提供に努めるとともに、関係機関・団体等と連携し、家庭教育支援事業の充実を図り、地域住民に親しまれる学習センターをめざします。

2 重点項目

(1) 学習機会の拡充

生涯の各時期にわたる現代的課題に向け体系的な学習を展開し、学習機会の拡充に努めます。

(2) 家庭教育支援の充実

家庭教育を支援するため、関係機関と連携し、親子のふれあいや子育てに関する学習機会の充実に努めます。

(3) 団体・グループサークルの育成

生涯学習活動の推進のため、グループサークルの育成を図るとともに、利用者懇談会等を開催し、相互のふれあいや仲間づくりに努めます。

(4) 広報・普及啓発活動の充実

地域の学校や自治会等の関係機関との連携により、事業の充実に努めます。

公民館事業を地域に普及啓発するため、広報かまがや、公共施設予約システムの他、関係機関への情報提供に努めます。

(5) 学習成果発表の場の拡充

団体・グループサークルの学習成果の活用を図るため、学習成果発表の場の拡充に努めます。

3 主要事業

	中央公民館	東部学習センター	北部公民館	南部公民館	東初富公民館
青少年期			子どもチャレンジ		子ども体験教室
成人期	市民セミナー（文学講座）	東部市民セミナー	北部タウンセミナー （心も体も頭もいきいき）	医療講演会	陶芸教室入門編
高齢期	市民セミナー（古典文学講座）	いきいきライフ教室 東部シニア倶楽部	北部シルバーカレッジ	シルバーセミナー「軽スポーツを楽しむ」 シルバーセミナー「きらり」コース	いきいき倶楽部
高度専門	オープンカレッジ かまがや （千葉経済大学短期大学部開放講座）				
家庭教育	市民セミナー （家庭教育セミナー）		北部家庭教育セミナー	親子セミナー	
全対象	中央公民館ふれあいまつり	東部ふれあいまつり 鎌ヶ谷二中美術部企画展示	北部劇場 北部クリスマスコンサート 北部ふれあいまつり	ファミリーコンサート 南部公民館まつり 新春初笑い寄席 ロンド マンドリンコンサート	ひょうたんまつり 東初富公民館ファミリーコンサート

[7] 図書館

1 運営基本方針

- (1) 高度化・多様化する市民の知的要求に応えます。
- (2) 子どもの読書活動を推進します。
- (3) 関連機関との連携を促進します。
- (4) ボランティアの育成と参加を促進します。
- (5) サービスシステムの強化を図ります。

2 主要事業

- (1) 図書館蔵書・資料整備事業
市民の学習要求に対応するため、図書館資料の収集・提供・相談の充実に努めます。
- (2) 図書館情報ネットワーク整備事業
いつでも、どこからでも図書館資料の検索や予約ができるよう、図書館システムの充実に図り、資料情報の提供サービスの向上に努めます。

3 主要施策

- (1) 資料の収集・保管・提供
市民の学習要求に対応するため、幅広い資料の収集・提供を行うとともに、郷土・行政資料の積極的な収集と保存を行います。
資料を活用しやすくするため、予約・リクエストサービスの充実に図ります。
- (2) サービス体制の充実
乳幼児・児童・青少年・成人・高齢者等利用者に応じたサービス体制の充実に図ります。
(ビジネス支援・子育て支援・ブックスタート・読み聞かせなど)
- (3) 市民参加・協働
長年蓄えた自らの知識・技能を活かすボランティアの発掘・養成・支援を行うとともに、ボランティア・市民・利用者との交流の場を広げます。
- (4) 他機関との連携
学校や行政部局などの関係機関と連携し、資料や情報を有効的に活用することにより、児童・生徒の読書活動を推進するとともに、行政支援サービスを行います。
- (5) 分館の充実
図書館の質的向上を視野に、市内5カ所に配置している分館機能の見直しを図り、公民館等との連携により、地域の特性に沿った資料収集や活動を展開します。

4 図書館サービスの充実

(1) 図書館の分類別蔵書冊数

(単位: 冊)

平成29年4月1日現在

一 般	郷土・行政	児 童	計
204,132	8,079	91,388	303,599

分 類		冊数	分 類		冊数
一 般	総記	5,744	児 童	総記	1,074
	哲学・宗教	7,707		哲学・宗教	663
	歴史・地理	17,674		歴史・地理	4,828
	社会科学	30,731		社会科学	3,443
	自然科学	13,887		自然科学	8,154
	技術・工学	17,031		技術・工学	3,035
	産業	7,047		産業	1,775
	芸術・体育	17,723		芸術・体育	3,771
	言語	3,496		言語	1,029
	文学	81,714		文学	30,960
	大活字他	1,378		大活字他	129
	小 計	204,132		絵本	31,582
郷土・行政	8,079	紙芝居	945		
		小 計	91,388		

(2) 読書普及活動

事 業 名	内 容
おはなし会 さくらんぼぐみ (赤ちゃん向け) ひまわりぐみ (小学校低学年以下向け) いちごぐみ (小学校低学年以下向け)	児童を対象として定期的に絵本、紙芝居、人形劇などを見せたり、読み聞かせなどを行います。 *手遊び・絵本・紙芝居* *パネルシアター・エプロンシアター* *人形劇*

夏休みとしょかんげきじょう	図書館員のおはなし会と、ボランティア「汽車ポッポ」の人形劇
クリスマス会	図書館員のおはなし会と、ボランティア「汽車ポッポ」の人形劇
講演会等	読書講演会 草原の国モンゴルからのおくりもの 大人もチャレンジ ブックコーティングをかけよう
分館事業	分館の活性化を図り、本館から離れた地域の方へのサービスを充実するために展示や事業を実施します。 連携イベント 東初富公民館 ひょうたんまつり 大人のためのおはなし会 新美南吉の 世界を楽しもう しおりづくり くぬぎ山コミュニティセンター くぬぎ山コミセンまつり りんごのメッセージカードづくり 北部公民館 北部ふれあいまつり おりがみでしおりを作ろう 南部公民館 南部公民館まつり りんごのメッセージカードづくり
図書館で映画を見よう in 東部学習センター	映画上映と作品の監督、俳優、原作等を紹介するシネマトークをあわせて行い、視聴覚資料や図書館の利用拡大を図ります。
図書の展示	読書意欲を増進するためテーマを定め、本を収集して展示します。
子ども科学遊び講座	アイのある暮らし～カラフルな水たちの力～子どもたちに科学遊びを通して本に興味や関心を抱かせ、読書普及や図書館の利用拡大を図ります。
児童ブックフェア	児童を対象に図書への親しみや関心を深め、読書普及を図ります。
本のリサイクル	不用により除籍された図書、寄贈図書のうち受け入れられなかった本及び一定期間経過した雑誌を市民に無料で配布します。
平和図書展示	平和に関する図書を展示し、読書普及を図ります。
子ども読書活動推進事業	幼児や児童に対し読み聞かせを行っている団体のメンバー及び個人の技術の向上を図るため、読み聞かせの実技研修を行います。 「わらべうたと子どもの本の講座」「読み聞かせ講座」 「読み聞かせボランティアアドバンス研修会」
創作教室「ザ・チャレンジ」	身近な創作を通して、子どもたちの図書への関心を深めます。
学校図書館司書・司書教諭との打ち合せ	学校司書教諭と情報交換をすることにより、子ども読書活動の推進を図ります。
ブックトーク	テーマに沿って図書を紹介し、本のおもしろさを伝えることにより図書への関心を深め、読書活動への推進を図ります。

[8] 郷土資料館

1 運営方針

- (1) 郷土資料の収集・調査・研究を推進し、展示内容の充実に努めます。
- (2) 市民の郷土学習の機会を提供し、必要な助言と情報提供に努めます。
- (3) 市の歴史的変遷の系統的な調査・研究に努めます。

2 主要事業

(1) 調査・収集事業

企画展やミニ展示の実施に向けて、体系的な資料調査・収集に努めます。

あわせて、歴史公文書を含む歴史資料や民具を中心とする民俗資料の収集・整理を行います。

(2) 展示事業

- 常設展示『鎌ヶ谷に生きた人々の暮らし』
- 平成29年度企画展「鎌ヶ谷・御札づくし（仮題）」
- 第18回ミニ展示「東葛・印旛大師講again」
- 平成28年度新規収蔵資料展示、収蔵資料展示

(4) 教育普及事業

郷土鎌ヶ谷への理解を深めるため講座・教室などを開催して、歴史に関する情報の提供に努めます。

- 鎌ヶ谷古文書講座（中級） ○歴史講演会 ○郷土資料館セミナー
- 文化財講座 ○学芸員講座 ○クールシェア企画 など

(5) 出版事業

資料館の活動・企画内容を広報するとともに、調査・研究の成果を普及します。

- 『郷土資料館年報』第30号 ○「郷土資料館だより」第40号・第41号
- 『企画展図録』

(6) 子ども関連事業

- 出前授業
- 縄文人の生活ウォッチング
- 夏休み子ども教室（まが玉作り、あんぎんコースター作りなど）
- 体験講座「昔のくらしをみよう！やってみよう！」
- 職場体験 ○団体見学

(7) 市史編さん審議会

市史編さん事業終了後の収集資料の公開・利用について審議いただくため、市史編さん審議会を開催します。

[9] 青少年センター

1 運営方針

次代を担う青少年たちが、心身ともに健やかに育つことはすべての市民の願いです。

しかしながら、近年インターネット、スマートフォンなどの普及で、青少年たちがラインやツイッターなどのネット掲示板を通じ、いじめや非行行為が行われるなど、青少年を取り巻く環境が複雑かつ多様化しております。また、不審者・変質者などの情報も寄せられています。

このような中、青少年センターとして、青少年を取り巻く環境や行動の実態を把握しつつ、学校、家庭、地域、警察、関係機関などとの連携を図り、青少年たちの健全育成・非行防止を図るため、下記の事業を展開していきます。

2 主要事業

(1) 街頭パトロール活動

ア 学校、地域、関係機関からの情報をもとに非行や不審者等に対する積極的なパトロール活動を実施します。

イ 青少年センターによる随時パトロールを強化し、市内の状況把握に努めるとともに青少年に対し「愛の一声」を実施します。

ウ 自転車の二人乗りや無灯火への声かけを強化し、青少年の交通事故の防止を図ります。

エ 「子ども安全メール」「子ども防犯マップ」「広報誌」等により、不審者等の情報を市民に伝えるとともに効果的なパトロール活動を実施します。

(2) 相談活動

相談者への対応については、共感的理解を基盤として、できるだけ継続した指導、支援を行い問題の解決に努めます。必要に応じて学校や関係機関と連携し、サポート会議を行うなどして的確な対応に努めます。

(3) 環境浄化活動

ア 市内の青少年に有害な環境や危険箇所を把握し、関係機関、店舗、事業者等に協力を求めて早期に改善を図ります。

イ 「こども110番の家」の整備、増置に努め、市民の子どもの安全を守る意識を啓発します。

(4) 関係機関との連携

ア 青少年の問題行動に関する業務を総合的に推進するため青少年センター運営協議会の充実を図り、併せて青少年センターの業務を円滑に推進するため青少年補導員連絡協議会との連携を図ります。

イ 学校、警察、青少年健全育成団体、児童相談所、子育て支援センター、近隣市青少

年センター等と情報交換を実施し、情報の共有化や問題解決に向けての連携を図ります。

ウ 携帯電話等の情報通信機器からのネットでの、いじめ、非行行為、犯罪などネットパトロールを実施することにより、問題行動の早期発見、非行防止に努め、被害が増大する前に関係機関と情報を共有化し問題解決に向けての連携を図ります。

(5) 広報・研修活動

ア 広報誌の発行や研修会の実施、地域団体の会合に積極的に参加するなどして、青少年補導員及び地域団体の青少年健全育成に対する意識の高揚を図ります。

3 活動実施内容

活動	実施内容
街頭補導活動	<ul style="list-style-type: none"> ○定時パトロール <ul style="list-style-type: none"> ・毎週、月、水、金の3日、青少年センター職員と青少年補導員が市内をパトロールします。 ○夜間パトロール <ul style="list-style-type: none"> ・7月～9月は毎週水曜日、青少年センター職員と青少年補導員が市内をパトロールします。 ○随時パトロール <ul style="list-style-type: none"> ・学校、地域、関係機関からの情報をもとに青少年センター職員がパトロールを行います。 ○行事特別パトロール <ul style="list-style-type: none"> ・入学式、夏祭り、体育祭、卒業式等の学校行事に合わせて青少年センター職員がパトロールを行います。 ○市内一斉パトロール <ul style="list-style-type: none"> ・7月、12月、3月の年3回、青少年センター職員と青少年補導員80名全員が中学校区ごとに市内全域をパトロールします。パトロール終了後、情報交換を行います。 ・7月、3月は鎌ヶ谷警察署生活安全課、鎌ヶ谷警察署少年警察ボランティア連絡会、東葛地区少年センターと合同でパトロールを行います。 ○広域列車パトロール <ul style="list-style-type: none"> ・年1回、市内を通る東武鉄道、新京成電鉄、北総鉄道の電車内及び駅構内を青少年センター職員と青少年補導員がパトロールします。 ○隣接補導 <ul style="list-style-type: none"> ・隣接する船橋市、松戸市の青少年補導(委)員、青少年センター職員と合同パトロール及び情報交換を行います。 ○地区補導(班活動) <ul style="list-style-type: none"> ・市内にある5つの中学校区毎の青少年補導員による学区内の自主的なパトロール活動

	<p>や夏には、夏祭りや必要に応じて中学校区の体育祭、卒業式等の学校行事のパトロールを行います。</p>
相談活動	<p>○電話相談、来所相談</p> <ul style="list-style-type: none"> ・問題行動や悩みを抱えた少年と保護者の援助及び指導を電話や面接により行います。 <p>相談日 毎週月曜日から金曜日の9時～16時</p> <p>○家庭訪問</p> <ul style="list-style-type: none"> ・必要に応じて相談者の家庭を訪問して相談活動を行います。 <p>○継続相談</p> <ul style="list-style-type: none"> ・問題の解決に時間を要する場合や再発の恐れがある場合は相談活動を継続して行います。 <p>○サポート会議</p> <ul style="list-style-type: none"> ・必要に応じて学校、警察、児童相談所、こども総合相談室と連携を図り問題の早期解決に努めます。
環境浄化活動	<p>○市内の「危険箇所」を把握し関係機関と連携して解消するよう努めます。</p> <p>○有害図書、有害広告物等の調査及び撤去活動を行います。</p> <p>○カラオケボックスの調査を実施します。</p>
関係機関との連携	<p>○鎌ヶ谷市青少年補導員連絡協議会と連携します。</p> <p>○市内小中高等学校生徒指導連絡協議会への参加及び学校訪問による情報交換を行います。</p> <p>○近隣市の青少年センター及び青少年補導員との情報交換を行います。</p> <p>○鎌ヶ谷警察署、鎌ヶ谷警察署少年警察ボランティア連絡会、東葛地区少年センターとの合同補導及び情報交換を行います。</p> <p>○ふれあい談話室、こども総合相談室、子育て支援センター、市川児童相談所と連携します。</p> <p>○青少年育成推進委員と連携します。</p> <p>○市内大型店舗と情報交換を行います。</p> <p>○ネットパトロールによる情報収集を行います。</p>
広報・研修活動	<p>○広報活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・青少年センターだより「緑の子」「梨の里」を発行します。 ・鎌ヶ谷市青少年センター「要覧」を発行します。 ・青少年補導員連絡協議会による「補導員だより」「補連協だより」「理事会だより」を発行します。 ・各団体への青少年健全育成活動の啓発や情報の提供を行います。 <p>○研修活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・青少年補導員研修会（年2回）、視察研修会（年1回）を実施します。 ・千葉県青少年補導センター職員合同研修会へ参加します。

	<ul style="list-style-type: none"> ・その他、青少年健全育成に関する研修会へ積極的に参加します。
その他	<ul style="list-style-type: none"> ○「こども110番の家」を増やすと共に児童生徒へ啓発を行います。 ○「こども110番の家」タクシー(車両)事業を展開します。 ○「子ども安全メール」により不審者や危険箇所等、子どもの安全に係わる情報を市民に提供し、効果的なパトロール活動を行います。

[10] 市民会館・きらりホール

1 運営方針

きらりホールでは、設置の目的を達成するため、「きらりホールの使命」及び「事業の方向性」を明らかにし、各種事業の実施に取り組みます。この「きらりホールの使命」はきらりホール運営の基本理念であり、設置目的達成のための手段として実施する各種事業の基幹となる概念です。その「基本理念」を具現化するために必要と考えられる様々な方策から共通概念を抽出し、それらを端的に表したものが重点項目としてあげた「3つの事業の方向性」です。

きらりホールを取り巻く環境を踏まえ、質の高い芸術文化を市民に届けられるよう、「感動」「創造」「交流」を意識し、事業展開に努めます。

2 重点項目

(1) 市民一人ひとりに感動を与える 鑑賞機会を多くする－「感動拠点」

質の高い舞台芸術は、人びとに感動を与え、日常生活に潤いやゆとりをもたらします。

これまで、本市は、生涯学習やコミュニティ形成の一環として、市民の芸術文化活動の機会と場を提供してきました。きらりホールは、子どもから大人まで、すべての市民が平等に芸術文化に触れられるサービスを提供する場として、良質な舞台芸術を提供し感動を与える「感動拠点」をめざします。

(2) 市民一人ひとりの創造力を高める 創造機会を多くする－「創造拠点」

芸術文化への関わり方は多種多様です。鑑賞活動から芽生えた、様々な知的欲求や創意を、創造活動に展開するための環境を整えることが重要です。きらりホールが独自に芸術作品を企画製作し発言することは芸術家と地域が協働して芸術を生み出すプロセスを共有することになります。そのことが、まちのもてる力や可能性を高めていきます。

そこで、本市の誇りとなる作品を企画製作します。具体的には、以下のとおりとなります。

- ①「発想」を支援する情報提供と相談の場。
- ②「準備」を支援する練習、作業、会議、研究の場。
- ③「発表」を支援する表現の場。
- ④「評価」を受け、今後の活動に生かす研鑽の場。

これらによって、市民一人ひとりの創造力を高める「創造拠点」をめざします。

(3) 多くの人びとが出会い、つながる 交流機会を多くする－「交流拠点」

人と人とのつながりは、地域社会の諸課題を解決することのできるコミュニケーションの糸口となります。そこで、市民が芸術文化活動を個々に展開しながらも、お互いに

「観客となり・出演者となる」「刺激を与える・刺激を与えられる」関係を築けるような出会いの場を用意して、市内外の文化関連施設と連携することで、交流機会を増やします。そこでは、新たな出会いが生まれ、芸術文化を媒介とした交流が進む「交流拠点」をめざします。

3 主要事業

自主事業の企画・実施を通して、本市における「芸術・文化の振興」と「文化の香り高いまち」づくり、シティプロモーションに貢献します。

(1) 芸術文化鑑賞事業

質の高い専門性に富んだ、より満足度の高い舞台芸術・芸能を鑑賞する機会を提供します。新たな音楽ジャンルの取組みやオペラ、コンサート、演芸など幅広い演目を実施することで、来館者数及びホールへの入場者数の増加を目指します。

(2) 芸術文化創造事業

地域に根ざした、新たな質の高い舞台芸術を創造し、市民が気軽に芸術・文化に親しめる機会と、鑑賞の機会を提供する市民参加型の事業を展開します。具体的には、市民の手作りによる「市民創作ミュージカル」を、プロと市民が企画の段階から協力して制作します。

(3) 芸術文化普及事業

基礎講座やワークショップなど、舞台芸術・芸能の愛好者が増える機会を設けます。「本番さながらの舞台での楽器演奏」、「舞台のバックステージツアー」などの体験型の普及事業を展開します。

また、市内小中学校の部活動などコンクール参加等の準備学習の場として、ホールを活用する「インリーチ」事業を実施します。

(4) 芸術文化情報発信事業

市内はもとより、近隣、県内外に向けてアーティストの発掘を兼ねた情報発信を行います。オープンコンテストを開催し参加者の中から、審査員等により優秀者を選定するイベントを実施するなど、きらりホールの周知及び情報発信へとつなげていきます。

(5) 芸術文化交流・体験・協働事業

舞台芸術・芸能を楽しみ、やがて担う人材となる若い世代を育成するため、交流・体験機会を経験する場を提供します。「舞台ワークショップ」、「アウトリーチ」という形で、ホールのみならず他の公共施設等へ訪問するなど、市民とともに舞台芸術・芸能の継承について協働で実施するための支援を行います。

鎌ヶ谷市の教育（平成29年度）

発行 平成29年8月

編集 鎌ヶ谷市教育委員会

〒273-0195

鎌ヶ谷市新鎌ヶ谷2-6-1

TEL : 047-445-1494

Fax : 047-445-1100

E-mail : kyoukisyomu@city.kamagaya.chiba.jp



国史跡下総小金中野牧跡マスコットキャラクター